京城日報

## 八月二十日夕刊（朝夕併せて八頁）

### ◇大谷大將 聯合軍統率 海上統率權不要

西伯利聯合軍の統率權は大谷大將の手にあり但し海上にては米國艦隊提督ナイト中將統率者たらんとの噂あるも事實に非ず海上にては別に指揮權を一任する必要を認めず又地中海にある我艦隊は共同作戰に依り行動しつゝあるも別に統率指揮を仰ぐ事なく單獨行動を執りつゝあれば浦鹽にても同樣なる可しと（浦鹽電報）

### ◇我出兵と英謝意

英外務次官セミル卿は滿洲里出兵問題に關し英政府の名にて珍田大使に對し今回日本の出兵決定は至極尤もなりとて日本の通告に對し深厚なる謝意を表したりと（ベルン電報）

### ◇支那兵指揮訓電

十八日支那外交部は駐日公使に訓電し支那の浦鹽派遣隊は大谷大將の指揮を仰ぐべき旨日本政府に傳達せしめたり（東京特電）

### ◇チ軍援を我に請ふ

敵軍陣地奪取——チ軍船舶擊沈

[illegible]

### ◇カ市包圍攻擊

十八日發アムステルダム來電＝過激派軍公表に據ればカザン市は今や包圍攻擊を受けつゝあり又勞兵會はアリロフを占領せり（合同通信電報）

### ◇トロツキー、ヘ市著

ストックホルム來電＝確報に非ざるもトロツキーはヘルシングフオールス（フインランドの首府）に到著しレニンは目下獨逸船舶に乘船す可く其途上にあり（合同通信電報）

### ◇波蘭王國說眞か

獨墺兩帝會見に關しベルリーナ、ターゲブラット紙は曰く未だ確實の報道に接せざるも波蘭問題に關し獨墺間に一致點を見出さざるものの如くなるも波蘭を獨立王國とし墺國皇族カール、ステファン太公を皇位に卽かしむべしとの說眞に近し（ベルン電報）

### ◇臨時西伯利 經濟援助委員會官制

十九日官報を以て臨時西伯利經濟援助委員會官制公布即日施行せらる（東京特電）

第一條 臨時西伯利經濟援助委員會は外務大臣の監督に屬し西伯利に於ける經濟援助に關する事項を調査審議す

第二條 臨時西伯利經濟援助委員會は委員長一名及び副委員長一名及び委員若干名を以て之を組織す

第三條 委員長副委員長及び委員は外務大臣の奏請に依り關係各廳高等官及び學識經驗ある者の中より內閣に於いて之れを命ず（以下四、五、六の三條省略す）

### ◇新聞通信大會

二十五日更に大阪ホテルに新聞通信社大會を開くと（大阪特電）

### ◇將官異動

三大佐陸進

陸軍大將 安東貞美
豫備役被仰付
陸軍少將 山田陸槌
補交通兵團長
陸軍少將 東乙彥
補臺灣總督府陸軍參謀長
陸軍少將 曾田孝一郎
補基隆要塞司令官
陸軍少將 宮田爲之
補旅順要塞司令官
陸軍少將 岸本鹿太郎
補步兵第十六旅團長
陸軍少將(騎兵第一旅團長) 稻垣三郎
免本職
陸軍少將 田村守衛
補騎兵第一旅團長

任陸軍少將（各通）
工兵大佐 曾田孝一郎
步兵大佐 岸本鹿太郎
同 武內常三郎

陸軍少將 武內常三郎
補陸軍大學校兵學教官兼同校幹事（十九日東京特電）

### ◇部課長任命

米穀管理部々課長は既報の如く十九日任命されたり（東京特電）

### ◇堂島立會開始

大阪堂島取引所は二十二日より立會を開始すべし（大阪特電）

### ◇金久保中將赴任

新任金久保第十師團長は十九日大連發の臺南丸にて赴任の途に就きたり（大連特電）

### ◇渡邊法院長通過

渡邊高等法院長は二十日朝釜山著直に十時半發急行にて京城に向へり（釜山特電）

### ◎墺匈國食糧問題と露西亞

某消息通談

墺匈國內に於ける食糧は前年既に大缺乏を訴へ之が爲め從來屢々下級勞働者等の暴動を惹起してゐたが近時は殊に一大危機に遭遇してゐる其爲め獨逸は頗る心痛し其の

▲救濟方法に 殆ど全力を傾注してゐる現下に於ける墺匈國の食糧補給難の根源は單に輸入杜絕に基因するのではなく全く戰役の結果各種肥料の不足、壯丁農夫の減少に因る作物の減收、交通機關の故障頻々、官憲の管理分配の不良、及び國內に於ける地方的及び種族的關係上彼我の疏通圓滑ならざる等種々の事項に基因してゐる、平時は墺國の不足穀類即ち、小麥五百餘萬、裸麥二百五十餘萬、燕麥百十餘萬、玉蜀黍百四十餘萬總計千餘萬ツェントネルは匈國から補給輸出してゐたのであるが目下に於ける匈國は其の生産が減少した爲

▲自己の必要 を充たす事の急であるのと、又一つには兩國の民族的關係が圓滿でないのとに依つて全然補給輸出をしない樣になつたのであるそこで墺國は是非此の不足穀類の補給を他國に仰がなければならない。然るに羅馬尼亞及び小露西亞地方では戰後の紊亂農民の穀類隱匿輸送機關の不備等種々の原因に依つて該地方からは足を得る事が出來ない。其爲め遂に今日の窮地に陷つたのである。そこで墺國は遂に食糧節減の止む無きに迫つて一週間一人に就ての食糧一千二百六十瓦を半減して

▲六百二十瓦 と定めたのである。其の結果市民は大恐慌を惹起し勞働組合などは定量の復活及び其時期迄代用糧食品供給等を要求し、同時に一般に平和の促進、勞働時間の短縮及び夜間作業の制限を主張する等墺國の危機は其極度に達したのである。それが爲め獨逸の心勞は倍々募つて、極力之が救濟に努め遂に一千貨車の穀物を補給に送り、又匈國を勸和して馬鈴薯及び穀類二千貨車を輸送せしめて幾分の危急を救助し、新收納を期待して、特に羅馬尼亞及び小露西亞地方の

▲秩序恢復を 急ぎ輸送機關の整理をして、大部分の穀類を露西亞に求めんと計畫してゐるのである（東京支局）

### ◎官吏增給の議

總督府にては曩に時局の影響に依る一般下級官吏及び雇傭人全部に對し臨時手當を支給し鮮人官吏及び雇員補助員の俸給改正等を行ひしが物價は依然騰貴の趨勢にあり全道に亘り再度增給の計畫ある由なるが今回增給を受くべき者は前回とは稍異なり百五十圓以下の高等官及び判任官は五級以下とし雇員傭人は全部にて其割合等に就ては目下詮議中なるが發表迄には多少の時日を要す可し

### ◎定例長官會議

二十日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官局長參集重要政務に就き審議正午散會せり

## 東京たより

### 穀物收用令發布

八月十七日午後二時 東京支局にて 白蘇鐵

▼政府は昨夜九時半、官報號外を發し緊急勅令を以て、穀類收用令を公布したり。憲法に所謂『公共の安寧秩序を保持し及び臣民の幸福を增進する爲め』の大權の發動を見、茲に始めて、穀類の需給を調節し穀價の暴騰による國民生活の困苦を救濟する途成る。

▼是より先き、所在窮民の暴動、人心恟々に安からず、閣臣恐懼、即ち夜を繼ぎてその對策を急施するに就て遺憾なきの途を研鑽するところあり、案を得て、昨午後五時、急遽宮中東溜の間に召集せられたる臨時樞密院會議に附し、清浦副議長以下各顧問官、愼重審議可決、直に內閣は之を上奏し御裁可を經て即時之を公布施行せり。實に所在の騷擾を見てより第四日也。

▼本令によれば、農商務大臣は國民の生活上緊要なる場合補償金額を定めて米穀を收用し得可く而して其の職權は地方長官をして代用せしむるを得、別に從來の外米管理部を擴張し、米穀管理部として直接此の調節の局に當たらしめんとす。

▼此日、仲小路農相は、全國府縣內務部長會議に於て、米價調節のことに言及して曰く、全國の在米は最近の調査に於て不足を見ず只配給上の遺憾ある地方に對して米は全力を擧げてその圓滑を期せんとす。一方、米穀貯藏者に對してはその自家必要以外の分量は至當なる代價、補償を支出して社會共同の利益を計る本旨の下に、速かに提供せしめんとす。若し此の際故無くこの施設を阻害するが如き舉措あるものに對しては、嚴重に法を以て臨まんとす。これらの計畫の實施に當りては、公益法人慈善團體の援助を期待すること大なりと。

▼同時に、水野內相はまた、在米潤澤にして配給漸く圓滑ならんとする際、米價の順調に復するも遠からざる可く、此の時に當り漫りに良民を窩迫して秩序を破壞するものに對しては寸毫も假借するなかる可きを述べたり。

▼吾人は既に渠の成れるを知る。即ち、水の通ずるや滔々乎として澁滯する無からんことを待望するや切也。

### ◇獨墺の和議

合同通信によれば獨逸諸新聞曰く獨墺兩國皇帝會見の結果白耳義撤退を含む條件を以て聯合國に對し講和を提議する事に決せり（東京發電）

### ◇在佛米兵總數

マーチ將軍發表に據れば目下佛國方面にある米軍は總計百四十五萬に達し新に米國兵營に入るべき兵士は百五十萬を算すと（華盛頓電報）

### ◇馮次期總統斷念

總統府側の消息に據れば馮總統は次期の總統たるを斷念し目下北京に居住すべく目下新邸建築中也と（北京特電）

## ◎京城電燈料据置

當局の意嚮値上を許さず、會社の値上案撤回、電力料金並に仁川馬山鎭海の電燈料は約一割上げ

六月下旬京城電氣會社は炭價の暴騰並に諸費用の增高を理由とし京城仁川馬山鎭海四地に於ける電燈料金約一割上げ並に電力料金の

▲値上認可 申請書を當局に提出せし事は當時詳報せしが爾來遞信局電氣課にて詳細に亘り調査審議の結果現在の電燈料金は既に不廉なると會社の收支狀態は今日炭價の引上げあるも値上げを必要とするまでに逼迫し居らざる事を大體の理由とし、その引上許可を與へざる事となりしやにて之れに先立ち京城電氣會社は事情止むを得ずとなし、電燈料値上げ申請書の撤回を當局に求め遞信局は十七日附を以て一件書類の返付をなしたるに付 結局京城の電燈料金は現行を以て當分繼續する事となりし譯なり唯仁川馬山鎭海三地の電燈料は

▲需要戶數 の少數その他の點に於て當局も會社の申請に對し若干率の削減を行ひその引上げを許可したるが値上率は現行の約一割となり居れり又電力料金は電力を動力とする工業の製造品價格暴騰せる今日一割內外の値上は不當ならずとの議決定右兩者共十七日長谷川總督の決裁を經たるに付京城電氣會社本店事務に對し許可の指令を交附したり尙電氣會社に於ける電燈料並に電力料の引上げにより一年約七萬圓の增收を期したるも京城電燈料の据置きにより五萬圓を減じ約二萬圓の增收に過ぎざる事となりたり

### ▲京城電燈問題

●京日主張の貫徹 ●結局電燈料値下 某有力者談

右に就き某有力者は語つて曰く、京城電燈値上に對し京城日報の反對されし要旨は(一)現行の京城電燈料金は炭價其他の點より觀て內地の料金に比し高きに失する事(二)炭價暴騰によつて會社の失ふ半期

▲八萬餘圓 を全部需要者に負擔させるのは不當である事(三)會社の收支狀態は値上をせねばならぬ程困つてゐないと云ふ點にあつた、而して京日は電力料金と瓦斯料金の引上は前者は電力による製造品價格の暴騰せる今日止むを得ずとし瓦斯はその製造に非常の石炭を要するから最少限度の引上げは、敢て不當としないと云ふにあつたやうだ、結局會社は自由に引上げ得る瓦斯料金の一割强値上げを實行し更に電車の割引率を狹めたるが許可を要する電燈料金は今回遞信當局の審議の結果京日主張の如く電力料金約一割の引上を許した外

▲京城電燈料 は据置と云ふ事になつた、唯仁川鎭海馬山の電燈料一割引上を當局が認めたのは予想より見れば若干議論の餘地を存するものと思ふが何分仁川も鎭海も馬山も戶數も多からず、燈數も少いのであるから當局でも特に許可したものと思はる、尙京電の木本氏は京城の燈料が高過ぎるから値下げをすると云ふ事を當局にも語り市民にも告げてゐた乃で今回炭價暴騰し失損の甚んだ時局に提出した電燈値上案の撤回を申出たのはつまり値下吹聽の實行をやつたものと見るべく會社當局に一市民として感謝の意を表する次第である

## ◎本月上半月 貿易概況

●出超百九十八萬四千餘圓●

八月上半月に於ける朝鮮貿易は輸移出六百六十六萬八千百二十一圓一月以降輸移出累計七千五百五萬七千二百九十五圓輸移入は四百六十八萬三千四百四十六圓一月以降輸移入累計八千四百十九萬千五百六十八圓なり而して同上半月に於ける輸移出超過額は百九十八萬四千六百七十五圓にて一月以降の輸移入超過額は八百二十三萬四千二百七十三圓なり今重なる貿易品に就き同上半月の輸移出入價額を示せば左の如し

▲輸移出重要品
▲米二、〇二〇、三六〇圓▲豆類二〇四、〇三三▲魚類二五三、三二三▲人蔘二三、〇一四▲棉花四一、五五八▲繭八八七、三二三▲金鑛及沙金四九、六五〇▲銅鑛八八、二七〇▲重石鑛一〇九、八七〇▲銀鑛四三、三五三▲鐵及軟鋼一三九、六六五▲合金銀粗銅一六九、八八二▲銅(塊及錠)一四〇、六一〇▲皮三七、〇六一▲皮革製品二、九三二▲煙草八六、八四〇▲生牛九四、八九三▲肥料七一、四九三

▲輸移入重要品
▲米九三、一六四圓▲粟一三四、四九二▲小麥粉八五、一〇〇▲食鹽三一、六七〇▲麥酒一〇、八六七▲清酒二八、八一四▲綿絲及打綿三三、七〇九▲綿織絲二四、五九七▲生金巾及生シーチング五六〇、八〇八▲晒金巾及晒シーチング一四二、五二八▲天竺布七三、一五六▲石油四七一、八二八▲綿縮緬及イタリアンス二二、九一一▲支那麻布七五、四〇二▲毛織物二九、四〇〇▲絹織物三三、九九▲紙一四四、八九五▲熟鐵八五、七一八▲鐵(條及管)二四、四〇二▲諸機械類八四、二一〇▲煙草一三、六一四▲生皮及熟皮四、七二六▲石炭四四四、〇二一▲木材及板一二一、二八九▲セメント六〇、〇七九▲麻蠅及莚二五、六一五▲マッチ三三、二六二▲雜貨物一五六、六五二

▲出入金銀
▲輸移出金貨及金地金二一八、六五四▲同銀貨及銀地金…▲輸移入金銀貨及金銀地金…

## ◎朝鮮郵船の 旅客賃金

廿一日より引上

朝鮮郵船會社にては夙に諸物價暴騰を理由とし命令航路船客運賃の引上げ認可を遞信當局に提出しゐたるが二十日附にて一二等一割以內三等三割の値上認可を與へたるに付會社にては二十一日より實行すべし

▲伊藤課長談 伊藤遞信局海事課長は曰く命令航路乘客運賃の引上げ許可は誠に止むを得ぬ事情のためである、何しろ米價を主とし食料品や石炭がかう高くなつては會社の現行料金では如何もやつて行けぬやうだ、遞信局では命令航路の運賃は成るべく上げさせず殊に三等の賃金を動かさぬ方針で今日に至つたが今の儘では食事の不足や粗惡と云ふ評も出て來るから此際若干率の引上げを行はしめ待遇を改善せしむる事にしたのである

▲松崎專務談 朝郵命令航路の乘客運賃は商船や瓦光に比し低率である而して二十一日より前記兩社は更に約二割の引上を行するので朝郵も當局の許可を受け一二等一割三等三割の引上をやる事になつた、內地の船會社の大部分は時局の惡影響を受け經費は嵩んだが收入も好影響を蒙り大に成績を擧げてゐるけれど朝鮮郵船の如きは朝鮮が著しい時局の好影響を受けぬやうに收入も著るしく進まず然も支出は石炭食料品の暴騰で大に困却してゐる、然し國庫より多額の補助を受けてゐるから忍び得るだけは忍ばねばならぬと思ふがそれも程度問題で結局今回の引上は止むを得ず行つた次第である

### ◎鮮銀濟南支店 總督府の發令

朝鮮銀行より總督府に申請中なりし濟南支店は當局の調査終了し十七日附支店設置命令書鮮銀に交附されたり而して支店長其他は略人選終りしを以て近く發表するに至るべし尙ほ天津支店の設置命令も近かるべしと

### ◎新師團長訪府

高島師團長は二十日午前九時總督府に長谷川總督並に山縣政務總監を訪ひ着任の挨拶を爲し府內各部を訪問同樣挨拶を述べたり

### ◎戶田醫學博士

京都醫科大學の戶田醫學博士は十九日入京朝鮮ホテルに滯在中にて二十日醫學專門學校講堂に於て一般衞生に關しての講演をなしたるが同夜出發歸途に就く可しと

### ◎『東亞經濟時報』創刊

板橋菊松氏は遠山朝鮮公論社を辭し東亞經濟會を設けて機關雜誌『東亞經濟時報』第一號を九月五日發刊す可し

### 人事消息

▲山本好道氏（大正製藥株式會社々長）二十日朝入京巴城館へ
▲西川藏氏（神戶高商講師）廿日朝入京朝鮮ホテルへ
▲山口武氏（日本運送株式會社長）同上
▲山口嘉吉氏（山口合名會社長）同上
▲齋藤總北第二部長 十九日夜入京不知火へ

### 茶前酒後

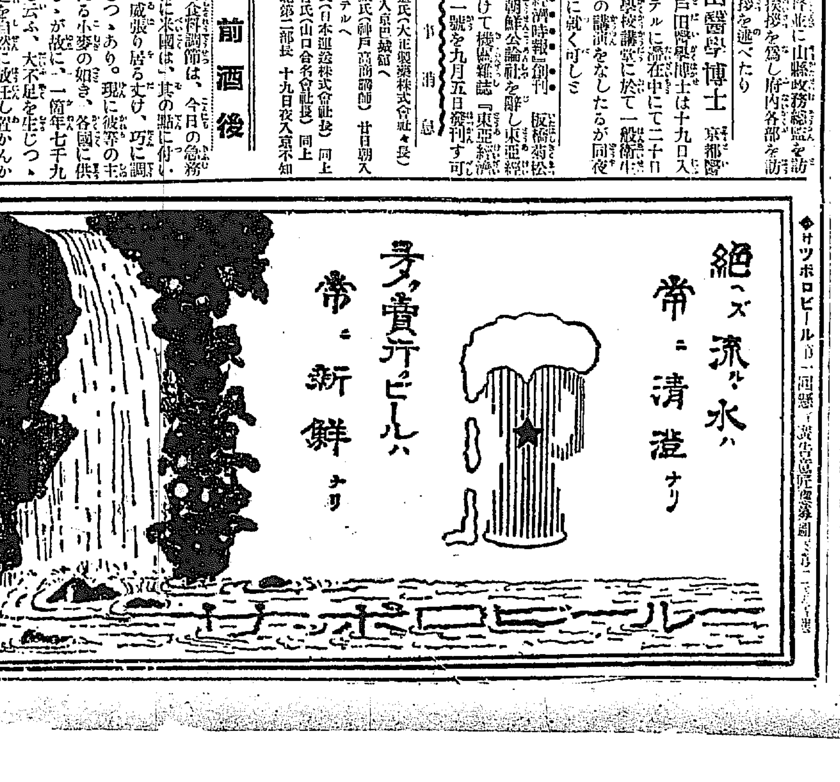
◆模範的食料調節は、今日の急務也。流石に米國は、其の點に付いて大いに威張り居る丈け、巧に調節をなしつゝあり。現に彼等の主用食料たる小麥の如き、各國に供給せらるゝが故に、一箇年七千九百萬石と云ふ、大不足を生じつゝあり。之を自然に放任し置かんか麥價は暴騰し、細民を苦め次いで勞働社會を、動搖せしむるの恐れあるが故に、米政府は人民と協力し、以て一策を按ずるに至れり。

◆即ち人民の愛國心に訴へ、分に應じて小麥を儉約せんと企て。小麥の代用物を獎勵し、家庭當面の責に任ずべき、主婦を說きて、代用品實用を約束せしめたり。此約束書に署名せる者、一千萬人に達せり。而して今年六月一日迄に、米國の聯合國に輸送したる二千八百萬石の小麥中、二千六百萬石は實に此の主婦儉約より捻出せられたるものなりと、今日此の際、洵に好模範たらずや。奧樣連のみならず、御主人公側に於ても、一考せられては如何。

◆施米所及び廉賣所を見るに、兩所共施米又は廉賣を受けんとする者は、朝鮮人に多し。此の結果に見て、朝鮮人が此の恩惠に浴し、其の生活の不安より脫する者の多かるべきは明了也。

◆之と對照して、此の慈善事業に對する寄附者が、內地人に多くして、朝鮮人に尠きは不思議の感無き能はずと云ふ者あり。然れども實に思ふ。由來朝鮮の貴族富豪中には、慈善心に富む人も多しとかや。されば唯今の處は、此情態が何時迄續くかを觀取しつゝある場合なるべく、何れは勿論其麗しき心事の、發する時あるべし。請ふ安んぜよ。

◆此の際外米試食會を開催し、之を獎勵せんと企てつゝあり。大いに贊成也。未だ食せずして其の吟味を云々するは早計也。希澤を唱ふるものは、先づ以て同會に參加すべき、資格なき者也。

◆サッポロビール（目下一週懸賞廣告應募）...
京城府北米倉町七十一番地（宮崎嘉造）

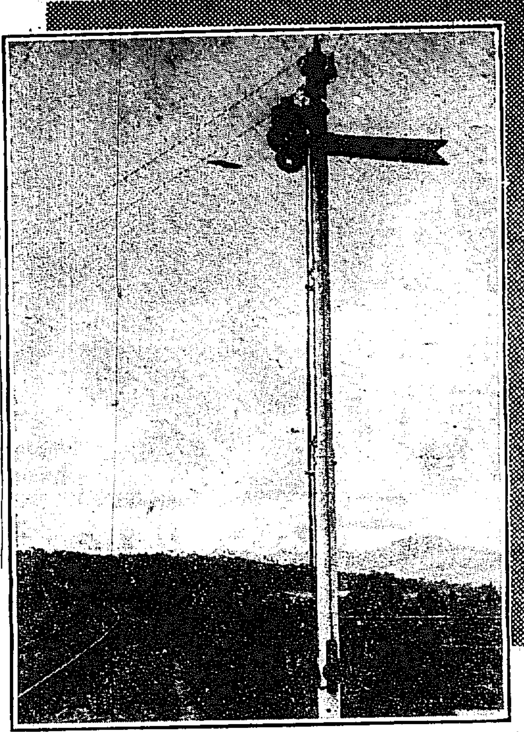
少年少女の讀物
◆お待兼のお伽噺イヨイヨ出來!!
五百部限り特價二十錢 賣り切れぬ內御購求あれ
八嶋柳堂著 古賀祐雄畫
教訓 お伽噺
美本（菊八）二百七十頁 定價三十五錢
◆それはく お面白いお伽噺
◆それはく 悲しいおとぎ噺
◆それはく お爲になるお伽噺
販賣所 大阪屋號 巖松堂 日韓書房
發行所 京城太平通 振替三〇〇 京城日報代理部

東京工學校 生徒募集
校長鳥潟工學博士、本校の試驗は科目制度なり電氣、機械共豫科、本科及電氣高等科(三級程度)工業教育會學校部 電氣部長鯨井工學博士、機械部長加茂工學博士、
入學期日八月廿日 授業期日十月一日 豫科本科中學卒業無試 規則要郵券二錢 東京神田三崎町一

コロタイプ印刷 寫眞輪郭マーク其他寫眞用版一式
京城長谷川町百番地 東亞煙草會社工場横
門田寫眞製版所


本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢▲郵稅拾五錢 郵送前金▲參ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金四圓六拾錢▲壹ヶ年前金拾四圓▲郵券代用二割増
廣告料金 五號十五字詰一行一圓 五號同 特別二號▲二號七字詰同二圓▲四號九字詰同一圓六十錢▲六號十七字詰一行一圓五十錢
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用長六千九二番 守衛用三千九五番 振替京城三〇〇番

大正七年七月一日改正現行（南大門行）



◇天高し 秋空や高々ミ日のありごころ たけし

## ◎米食すれば神罰あり 米が倉庫に唸つて居る まだ千九百萬石の米が

朝鮮では昔『米だけの飯を食へば神の罰があたる』といふ迷信があつた。それで極富貴人でも小豆を交ぜ中流以下では、粟稗など種々の物を交ぜて食してゐた。其爲に

▽一人一年の食

▽糧米が七斗か

八斗位るであつた。朝鮮の人口は總て千五百萬人であつて、米の産額は七百萬石から八百萬石であつた。産額を七百萬石として、一人の食糧を七斗とすれば一年に於合三百五十萬石の不足であるが併て以來平均千二三百萬石の收穫となつてゐる。そこで以前に比べて四五百萬石の增收で多少剩餘米がある譯である。けれ共今日に於て

◇…田舍の方 は昔の儘雜穀飯を食してゐるが、時代ごともに其迷信を捨て、米飯のみを食する者も出來てゐる爲に剩餘米こいふは實に僅なもので、豐作の年で僅々百餘萬石しかない。そこで内地で如何こいふに、總人口は五千萬人であつて、一人平均一石一斗五升の米を食してゐる。其總數は實に五千七百五十萬石であるそして其年に穫る所の米は、といふに

▽平作の時で五

▽千萬石豐作の

時でも五千五六百萬石に過ぎないのである五千萬石しか穫れない米に對して五千七百萬石の食糧米こすれば其不足高は七百萬石に及ぶのである。其補ひに粟其他の物を以てせねばならぬ、粟や稗の收穫は年に二千萬石に上るのであるが粟や稗のみでは滿足が出來ない爲めに已むを得ず朝鮮米、臺灣米を以て之を補はねばならぬ。けれ共朝鮮米は僅

◇…百餘萬石 臺灣米は五六十萬石しかない。七百萬石を補ふに百五六十萬石では猶不足高の方が多いのだ、其不足を補ふに南京米其他外國米を仰がねばならないのである然るに他の米に對しては鮮米が一番内地米に近い關係上百餘萬石の融通で滿足が出來ず多く輸入せんとする爲米價は自然に騰るのである。麥は内地の産額八百萬石で朝鮮の産額は六百萬石しかない是は既に米の外に

▽食糧こして猶

▽ほ不足勝ちの

狀態である朝鮮なごでは倍數の不足を告げてゐる、無論此の麥の不足も他の物を以て補ふか外國に仰ぐかしなければならないのである從つて麥の相場も騰るが當然だ。そこで田舍の方では昔は中以下では多く麥を食してゐたのが、近頃では麥を賣つて米を食すのが一般の狀態となつてゐる故に不足な米は猶不足を告げて來るのは已むを得ぬ自然の趨勢である。それに

◇常州信州 地方では桑の收穫上水田を畑に變ぜしめた爲めに收穫の少い米は更に少くなつて來るのである。しかし今年は天候順調であつた爲此儘に行けば米の收穫は平年に比して多い筈だ、米價の高い折から收穫の多いこいふのは諸物價の騰貴を心にかけない鮮農をして大に贅澤をなさしむる原因となるのである然し今年の

▽朝鮮米の暴騰

▽は内地米暴騰

の影響に外ならぬこいふ事は萬人の知る所である。國中の倉庫内を調べて見ると外國米朝鮮米共に一千九百萬石の米がある筈である、一千九百萬石の米があれば、まだ國民を四五箇月の間遂ふ事は容易な事である其内には新米も出る事だし何も賣り惜みする必要もないのだが不道德なる輩の徒らに私慾に迷ふ故に斯く破天荒の暴騰を見たのであらう（菜通の談）

## ◎東京の大火 神田錦輝館より發火して全燒八十戸負傷十七名を出し 損害額百萬圓に達す

▲十九日午後一時頃神田錦輝館より失火折柄の強風に煽られて火は今や附近に延燒せんとしつゝあり（二十日午前八時東京特電）

▲神田錦町の火事は十九日午後四時十四分鎭火全燒八十戸半燒一戸損害約百萬圓に達し負傷者十七名を出せるが重なる燒失物は錦輝館を始め電機學校、工科學校、錦城商業學校、中央蠶絲會、東京スケート等にて同町は是にて二度目の大火なり（二十日午前九時五十分著同上）

▲錦輝館は隣接せる大日本蠶糸會帝國スケート電機學校、錦城商業學校等を燒き二時十分鎭火せるが全燒約六十戸（廿日午前十時半著同上）

## ◎山口縣米騒動

十八日夜山口縣大島郡安下庄町にて米騒動起り群衆米屋を襲ひ富豪青木春雄氏方を燒拂へり（山口特電）

## ◎米の廉賣から 村民の激昂

大阪府下東成郡永井村にては米廉賣の闘諍より村民激昂十九日午前一時村長秦千吉氏の屋敷を燒き拂へり損害二十萬圓なりと（大阪特電）

## ◎ブ市反過激派 監獄に放火 元市長を救ひ出さんとして

十日夜ブコノゴウエスク市監獄より火災起りたり同地の反過激派が在監人を解放せんため放火せるものなるが時間早かりし爲直に發見され目的を遂行する能はざりき尚右は過激派が目下在監中なる元ブ市市長アレキセーフスク氏を殺害せんと企てたる爲之を救ひ出さんとして試みたるものなり（東京特電）

## ◎益々大繁昌の 米、安賣り 二日目は三百石殆ど賣切る

京城救濟會にては廉賣開始以來非常の好績を收め一般市民の歡喜一方ならず第二日たりし十九日は朝來晴陰定まらず第一日の晴天に比し天候不良なりしに拘らず各所とも大繁昌の態にて廉賣振當米豫定石數三百石の内石拔き米、石不拔米合計二百二十一石八斗三升此の他に外國米二十五石二斗を賣捌けり廉賣價格は初日と等しく石拔き米一升に付二十九錢石不拔米二十五錢外國米十六錢の割合なりき

◇筆頭は何處 今各廉賣所に就き一升券二升券五升券を通算したる石拔き米及び石不拔米の廉賣石數人員を聞くに左の如し

| 廉賣所 | | 石拔 | 石不拔 | 外國米 |
|---|---|---|---|---|
| ▲南大門 | 石數 | 一一、〇六 | 一四、三四 | 四、八二 |
| | 人員 | 三九五 | 八〇一 | 二〇一 |
| ▲西本願寺 | 同 | 一四、六四 | 七、九二 | 三、八六 |
| | 同 | 八六六 | 六七六 | 一九三 |
| ▲櫻井町 | 同 | 七、九六 | 二一、七九 | 四、四六 |
| | 同 | 四〇四 | 一一三〇 | 二二三 |
| ▲於義洞 | 同 | 三、九二 | 二〇、六九 | 一、八二 |
| | 同 | 一五九 | 三八七 | 四二 |
| ▲校洞 | 同 | 一、九四 | 一四、九七 | 二、〇〇八 |
| | 同 | 一〇三 | 二〇四 | 一〇四 |
| ▲鐘路 | 同 | 三、八七 | 一九、九三 | 一、〇八 |
| | 同 | 一九九 | 二二六五 | 五四 |
| ▲梅洞 | 同 | 一、二一 | 二〇、九一 | 一一 |
| | 同 | 七〇 | 一五九五 | |
| ▲龍山 | 同 | 一五、三三 | 一七、一二 | 三、七〇 |
| | 同 | 八一七 | 一〇二一 | 一八五 |
| ▲元町 | 同 | 四、三一 | 二〇、〇三 | 四、三六 |
| | 同 | 二二六 | 二三三八 | 二二八 |
| ▲計 | 同 | 六四、一三 | 一五七、七〇 | 二五、二〇 |

◇東拓の提供米 大半を占む

目下廉賣に供しつゝある白米は東拓の持米にして東拓が厚意に據り其大半を占め居れりと即ち十九日京城救濟會に廉賣を委託せるもの日扱び廉賣米は國産品拔米六十四石一斗三升の内四十二石七斗六升は東拓の分二十一石三斗七升は救濟會の分石不拔米百五十七石七斗の内百五石一斗四升は東拓の分五十二石五斗六升は救濟會の分といふ有樣なり

◇三日目の賣値 廉賣第三日たる二十日は廉賣價格石拔き米一升に付二十九錢石不拔二十五錢外國米十六錢にして既記の如く當日より若草町西本願寺廉賣所を廢止して新に日の出小學校内に新設し即日より廉賣を開始せり

◇外米より粟 を懇望する

京城救濟會にては外米の購買高比較的少く當豫定の三分の一以上を餘せるが今鍾路署の調査に依れば外米は五六年前一度試賣されたる經驗あり一種厭ふべき惡臭ありこなし極細民にあらざれば購入せざるに過ぎざるが如く實際に於て外米よりも寧ろ粟を勝れりとなし殊に下層民は粟の廉賣を渇望せる實況なりと

## ◎露國勞働團

露國勞働者一行十六名は北米シカゴより横濱を經由し哈爾賓に歸還すべく廿日午前九時四十分南大門通過北行す

□紙上寶探賞品 嚢に擧行せし本社第二回紙上寶探し當籤者にして未だ賞品受け取られざる方ある由該賞品は市内は町田、盛文堂兩新聞店に於て至急受け取られたし

## ◎警察廳長夫人殺害さる 十九日拂曉、長春の慘事

=犯人は二名=恨みの刃か=

長春支那警察廳長田敬闌氏の官舍へ十九日朝五時二名の支那人闖入し夫人唐氏（三八）を捉へ田氏の所在を訊ねしより不在の旨答へしところ夫なれば『田の代りに汝を殺す可し』こて矢庭に支那小刀を取出し逃げんとする夫人を突刺して逃亡せしが夫人は急報に接し驅け著けし醫者の注射に依り一時蘇生せしも程なく絶命せり因に夫人は姙娠中なりしが田氏は目下病氣の爲め奉天に入院中の由にて多分田氏に遺恨を含める者の仕業ならんと（長春特電）

## ◎言語道斷の男

[illegible]る内閣中は無一物こなり往むに所なく喰ふに物なきに至りたる結果良から〔ぬ〕一策を案じ此の上はお[illegible]ものなるが何分良心の苛責に堪へ兼ね安閑として日を過ごす能はざる[illegible]何分の御處分を仰ぎたしなる僞りにて實は骨折らずに只喰ふ策なりと判り嚴重に其不心得を諭して放逐したり

## ◎連絡船上陸客

十九日午前入港高麗丸上陸一二等客一等（十九名）三宅久米吉、山本義路、保證重松枝、花村善樹、六渡三郎、同龍美子、井芹作馬、同つよ、同はつめ、島末さは、山上信r、桑島長次、曾根川又4、同千賀、同茂、加米忠治、岩本貫一、巴鮫太郎、金子忠太、筑前千、玉井均、山田和[illegible]本設治、同一粂、外人六名 三等（二百二十五名）

◎十九日午後入港壹岐丸上陸一二等客 [illegible]淳、川崎小三郎、松本松次郎、竹中まさ子、十方色次郎、柴田治義、宮部貫次郎、仲任正[illegible]、柴川炤[illegible]、平井實音、南木吉郎、虎藏、栄藏、岩松雄、丹羽映志、[illegible]な、同野、森下[illegible]

天氣 天晴 （二十日午後六時より二十一日午後六時迄）

▲八月二十一日

◎日出 五時五十三分 ◎日沒 七時十分

滿潮 仁川 午前二時三十七分 午後四時五十三分 釜山 [illegible]

## ◎一戸大將の奇禍 馬から落ちて重態

教育總監兼軍事參議官一戸兵衞大將は十九日朝登廳の途中にて落馬腦震盪を起して一時人事不省に陷り赤十字病院に入院せるが重態なりと（東京特電）

## ◎司法省の 騒擾視察 檢擧處罰の方針を決する爲

司法省にては各地騒擾事件の檢擧處罰方針を決定する爲め騒擾狀態を視察するに決し十八日大阪、名古屋、廣島、宮城各控訴院管内に山内參事官、林檢事、山岡參事官、竹田檢事、飯田秘書課長を夫れ〳〵派遣せり（東京特電）

## ◎奸商の内幕 =二十日朝鮮所報=

鍾路署に引致されたるは鍾路二の六十六居住米商李聖業（五一）及び車德鉉（七一）と云ひ此兩名は十二日南大門市場にて安南米二俵を四十四圓二十四錢にて買取り混入十四日午前十時之を朝鮮二等米として市內貫鐵洞朴某に一升四十錢の割合にて五合を賣却し結局一錢六厘を不正利得したるものなりと尚各署に於てはこの際この種の犯罪を一層嚴重に取締るべしと

## ◎電燈料は是迄通り 不精無精値上を撤回

『罷りならぬ』と云ふ當局の內意で 會社はお際で月五萬圓を棒に振つた

電車の乘車料金と瓦斯の使用料金を引上げた京城電氣會社では既報の如く電燈料の一割方値上をも其筋に申請したが當局は市民生活上の必須缺くべからざる者でありつ從來の料金が

▽大阪神戸 等に比較して十燭で二十錢も高い此上十錢も値上げするなごゝは會社も餘り因業だといふ理由の下に認可を與へないと內意を傳へたので會社でも不精無精に是を撤回する事にした其結果會社では一箇月五萬からの

▽增收を棒 に振らねばならなくなつたので、罷業騒ぎで臨時當手を吐き出さねばならぬやうになつた折も折とてぎやふんと參つて居るとか然し仁川、鎭海、馬山等の各支店は本願叶つて値上げ認可の指令が下り動力の料金も

▽一割方の 値上げをし得る事になつたので木本專務の不平も幾分緩和されてるだらうと

危篤の報ある一戸大將

## ◎都督府の 外米賣出し

關東都督府が三井物產の手に依りて買入たる外國米は十七日著十九日より大連西公園農事試驗場跡にて午前十時より同十二時迄午後二時より同六時迄一升廿一錢にて一人に對し一斗宛賣出し午前中五十石を賣りたり尚ほ旅順にては廿日より右外米の賣出しを開始す可し

▽滿鐵も下級△ 滿鐵社にて

▽社員へ賣出す△ も下級社員の爲め外國米を一升二十一錢にて調辦所より賣出し尚ほ沿線各地の社員及び一般居留民の爲め外國米の賣出しを行へり

▽朝鮮から白△

▽米三千俵を△ 十九日仁川より入港の汽船江原丸にて一千俵二十一共同丸にて二千俵の白米を輸入せり外國米の買賣下と共に米價の緩和を來す可し（大連特電）

## ◎正木艦長等 橫須賀へ

河内査問會も移る

正木艦長以下遭難生存者一同は二十日現在を引揚げ軍艦〇〇に依り二十三日橫須賀に歸港すべく査問會も亦同時に橫須賀に移るべしと（橫須賀電報）

## ◎全州の米廉賣

二十日より米廉賣開始二箇所にて賣り出したるが一等二十八錢二等二十六錢（全州特電）

## ◇各地の白米

…二十日小賣値段（電報）…

▲全州 昨日こ同値三十六錢

▲公州 三十四錢

▲淸州 二十日白米三十四錢玄米一等白米小賣り三十六錢

▲群山 變動なし下米三十二圓五十錢を中心に上下し居れり

▲仁川 小賣り相場動かず二十日正午迄特等四十錢一等三十九錢五厘二等三十九錢なり

## ◎釜山と救濟 官民一致の廉賣協議會

◆官民の協議 釜山にては府尹以下府協議會議員、警察署長、市場役員、精米業者等商工俱樂部に十八日會合し窮民救濟方法につき凝議したり

◆精米所の奮發 釜山の精米業者十名は府の救濟法として白米五百石丈けを三十三錢に販賣せしむる爲め一石につき金一圓の販賣手數料を小賣り商に支拂ふことを決議したり（釜山）

## ◎老婆の災難

十九日午後八時四十分京城電氣會社東大門行第九十一號電車が鍾路四丁目を進行中、花南洞居住林召史（七五）は突如其前を橫斷せんとしあはやと云ふ間もなく突倒され、前額部其他に治療一週間の負傷を受けたり

## ◎本能寺の講話

府内觀水洞本能寺にて二十二日午後八時より『時局と日蓮聖人』の題下に伽藍主幹の講話あり尚ほ同日鮮人信徒部の爲め陰暦孟蘭盆會施餓鬼修行の由

## 緩衝機 （投書歡迎）

### 憎む可き醉漢 一納凉客

◆滿鐵京城管理局主催の元山海水浴行き第三回臨時列車は相變らず盛況であつた只乘客の一員として乘客の待遇並に取締り方に就いて其の關係筋に注意を促したい事がある、夫れは三等客であつた一名の醉漢が二等客の中に割り込んで來て終夜狂態を演じ果ては乘客に喧嘩を吹き掛けて一同を困らせながら夫れを係員は醉漢さいふので寬容の美徳を發揮して制止せられなかつたのである。此の醉漢さ言ふのはデブ〳〵肥つた三十五六位の男で赤黑い顏に眼鏡を光らせ白の背廣服を着てゐた職工風の男で、元山行きの際は三等車に乘つて居たが歸りの時は何故か二等車に乘つて居た

◆何でも元山の旅館北星で鱈腹御馳走になり醉つて醫師のウ井スキー一本を平げた上後に麥酒を八本飲んださいふことで其の勢で二等切符を買ひ客車内に割り込み又も鐵道醫のウ井スキーを頭割した上午後十時から午前二時頃迄厭ふ喚く罵る暴れ廻るさいふ狂態であつたが

◆其の列車には勿論車掌も居れば役員が二名も居つたが何故か止めて呉れない、殊に鐵道の醫師ともあるべき三名のお醫者さんが件の男に共鳴して騒ぐので係員も默認したものが默認してゐた乘客の方では手が附けられず全く元山迄苦しみに行つたやうなものであつた

◆殊に制止する人が無いのに附け上り醉漢は夫婦者らしい二等客の某婦人を彌次り倒てゐた某國人を惡罵し果ては傍らに居た某内地人を罵倒する等全く困つた代者であつたが疲れて一寢入りし醉ひが醒めて一括さして耻づる色もなく

◆一言の謝辭さへなく南大門驛で下車した此の男は何れ係員か會社には特別の關係でも有つてゐるものであらうさいふ一般の評判であつた件の男は住所は判らないが京城に住まつてゐる古河系さいふものらしい

### 親切なれ 一會社員

◆京城仁川其他の各地に救濟會や廉賣所が出來て貧民を救濟されるので、吾々は大いに感謝して居ります、然し某地の係員の如く傲りに施米及び廉賣を受けんとする者の生活狀態などに立入つて、訊れたり調べたりする事は吾々へ者だと思います。なきだに内地人などは遠慮して足を運び兼ねて居る始末です

◆衆人環視の場所で、被告人に對するやうな態度で生活の内容にまで立入られたなら、誰だつて顏を赧くせざるを得ないでせう、仁川でも廉賣所に警官が五人も十人も集つて嚴然さして居るため不評判だそうですが、斯る場所には、場內整理のため、親切な警官が一二人臨場して、溫言もつて此等貧困者に接して貰ひたいものです。拒官が慈善事業ですから多少狡猾な者が交つて居ても大目に見て居るか、若しそれが弊害を醸すならば、怪しい者は傍に呼んで注意を與へるが如き御前の態度を取て頂きたい

### △平凡な築港 內地見學團より（3） 堀川生

◆瀨戸內海は船程嫌に過ぎて見ることが出來なかつた。海軍の師…休兵と一緒になつた汽車は非常な混雜で、三十餘人は散り〳〵になつて殆んど座られなかつた。網路の停車場に著いた頃、東の空が紅になつて、顏を洗ふ女や田の畔を巡つてる農夫や、田に水を汲み入れて居る男や、紡績工場に行く娘等がボツ〳〵と見ゆ出した

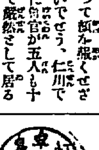
◆汽車が明石から、舞子、須磨のあたりに來ると、今睡から醒めた樣な白帆が靜かに松の梢を透して見ゐる、丘の砂地に松に圍まれた別莊は未だ睡つて居る。到底も拂い除の及ぶ所ではない

◆神戸に著いたのは六時半であつた。直ちに湊川神社に參拜して大楠公の偉蹟に接し、楠島居前で記念の繪端書を求めた

◆湊川神社を去つて埠頭に行つた。林立した檣と、黑煙を吐く商船と、叫び合ふ船頭の聲とのみだ。そろ〳〵と市中を歩いて、米騒動で燒き拂はれた跡を見つゝ、川崎造船所を訪ふた

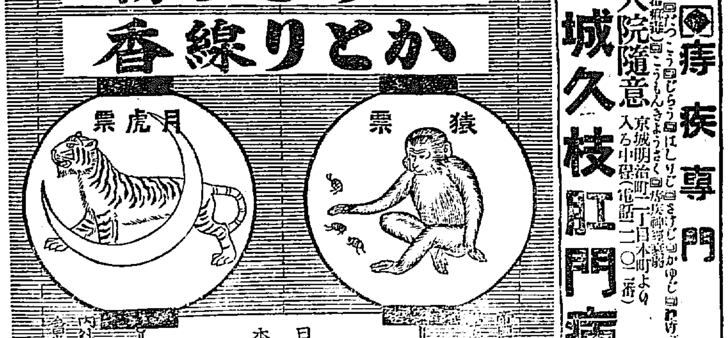
◆蒸し暑い汽車で大阪へ行く。梅田驛には旅宿の主人が待つて居た。荷物を託して直ぐ遞信局に往くと休暇中だそうで門前拂

◆築港を見るため各自電車で赴く、何を見てよいのか分らぬ程平凡だ（十五日大阪にて）



▲數日前のこと南大門驛で十六列車に乘ると二人のアメリカ人が二等客車の便所の前に立つてクス〳〵笑つて居る▲何氣なしにひよいと指す處を見るとダブリユーシーとあるべき處にセルカーンと云ふ字が書いてあつたので▲さては職人が分らずに便所を食堂にして了つたのだナーと大笑ひした事があつたソレは間もなく直された筈である▲矢張り臭い話だが南大門通り改造旅館前の共同便所の屋根に支那料理店の廣告板と言ふ廣告が貼つてあつたが▲飾納慾うも與待ちならぬ感じを與へられらぬと通行人が言つてた

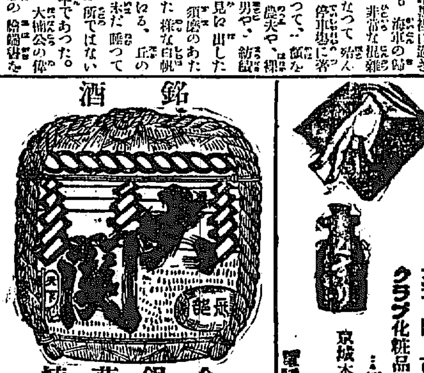

のみとり粉 かとり線香



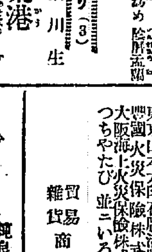


大日本 紀州 大阪 上山静藏鑒製

痔疾專門 入院隨意 京城久枝肛門病院
いぼぢ・だつこう・きれぢ・はしりぢ・さけぢ・かゆぢ・ろうこうもん・こうもんきようさく・痔瘻
京城明治町一丁目本町より入る中程（電話二〇二番）



銘酒 金 銀 菊正宗 楠正宗 釜 釜 特約店 三巴京城支店 電話 三七 八五 〇三番



クラブ化粧品代理店ですから 純良の藥品と賣藥が揃つて居ます 御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

貿易商 雜貨商 ㋕ 京城本町三丁目 藤富國太郎商店 電話三〇八番 振替京城一七八番
東京山本大印石版活版インキ特約販賣店 豐國火災保險株式會社京城代理店 大阪海上火災保險株式會社朝鮮代理店 つちやたび並ニいろはたび

藥種賣藥卸商 醫化學諸器械一式 Ⓚ
仁川本町 北島藥店 電話一三四・振替京城六七番
京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意
醫學士 齋 勇 醫士 齋豐次
京城本町五丁目稻荷座前 大和病院 電話二〇二番

砂金 金石 純金 銀貨 買並分析
京城旭町二丁目六番地 宮内地金商

# 米問題と地方

## ◆大邱と安い米　細民の喜び一方ならず

大邱に於ける米、麥の廉賣は既報の如く十八日より愈々之が賣出を開始したるが當日は日曜日にも拘らず府吏員は早朝より各戶に割引券の配布に努め一方警察側に於ても白井署長を始め署員等は亦廢休にて鮮人側賣り捌所附近の設備其他に付き指揮奔走せる爲時を經るに隨ひ惠與されたる割引券を手にしたる鮮人側細民は

### 孰れも喜悅の情を

色に現はし續々賣り捌所附近に詰め寛け忽ち門前市を爲すの盛況を呈するに至りたるも內地人側は漸に中流以下の者と雖も多少の自尊心の有る關係か但は持越米の拂底を告げざる關係か若くは未だ割引券の配布一般に行き亘らざりし關係か兎に角賣り出し初日は比較的

### 購求者尠なかりし

模樣なるも確かに一般に好影響を與へたるは察するに難からず、尤も今回の割引券配布の範圍は府當局に於て調査せる納稅額を基礎として中流以下の生活狀態と認むる家庭には

### 一般に配布する事

とせる關係上收入の多寡は兎も角相當の人格あり名擧を重んずるの士赤尠からざれば中には割引券の配布を固辭するものもありたるやなれども一般に非常なる幸福を與へたる事は爭ふ可からざる所なるべし(大邱)

## ◆米も大豆も　豐稔の見込充分なり

忠南に於ける本年の稻作は目下の狀況にして八九月の天候に格別の變化なきに於ては平年作以上優に百五十萬石の收穫豫想なりと云ふ尙舒川保寧二郡の一小部分には多少害蟲發生せしも夫々驅除手當中なれば蟲害と稱する程のものにあらず而して前記收穫豫想の主なる理由は(一)植付期に於て降雨潤澤なりしため植付けの面積を平年よりも擴大したること(二)道奬勵の結果種子の改良が普及したること(三)日射は是れまでは順應なりしことにして又大豆作も目下の天候にして格別の激變なき限りは稻作同樣平年以上の收穫あるべしとなり(公州)

## ◆馬山救濟會

米價暴騰に伴ふ細民救恤の爲め馬山府に於ては既電の通り內鮮官民の主なる人々五十餘名警科女學校內に集合して馬山救濟會を組織するに決し左記案件を可決確定す

(一)馬山府內貧民救濟の目的を以て馬山救濟會を設く(二)本會の事務所は馬山府廳內に設く(三)本會に左の役員を置く會長一名、副會長一名、評議員十名事務員若干名(四)會長副會長、評議員は會の推薦に依る、事務員は會長之を選任す(五)救濟方法左の如し當分の內時價に應じ相當取引價格を定め販賣救濟す、右前項割引金額に對する差額は一般篤志者の寄附に依る(七)販賣は適當と認むる賣人に依託す

終て役員を選擧し左記諸氏當選す

會長　府尹、副會長　警務部長、評議員、松原早藏、目加田平三郎、井上義理、渡邊千太郎、笠　永助、濱田睦二、岡崎一、金泰錫、張稷宇、玉岡煥(以上十名)

實施期は二十日頃更に府廳に於て評議員會を開き決定すべし(馬山)

## ◆鎭海救濟會

鎭海市にても細民救恤の意味に於て救濟會成立し米の廉賣を行ふことなりしが此協議の爲め官民の集合を成すや席上左記の寄附を申出でたれば五百圓の醵金を程度として廉賣を實行する由(鎭海)

金百圓(元木遵夫)金五十圓(內尾重信)金三十圓(久保田政治)金三十圓(大坪榮右衛門)

## ◆馬山と米(在米)

馬山に於ける其後在米數を調査するに地方買付け約定のものを合算すれば米商は觀測せり商廳の爲め馬山現在に於て約五千石は確かなりと府に於ける一等白米相場は判明せざるも釜山に比較して先づ三十七八圓內外にして總督府移出制限令を發せざる限り端境期に至るも此相場は下落せざるべしと當業者の觀測なり(馬山)

## ◆廉賣の商店

細民救濟の意味を以て目下廉賣しつゝある馬山府內の商店左の如し(馬山)

目加田、西田、頓、島原、松原、山野、夏目、馬山精米、原田、吉村、前森(以上內地人)惠成軍(支那人)

## ◆晋州の協議

慶尙南道廳にては總督府の電命に依り刻下の米價昂騰に就て救助策を各主任會同して協議せり(晋州)

## ◆忠北と米(朝鮮)

忠北淸州にては一時三十九錢の脫線的珍高値を示せる米價も逐次暴落して目下一等石拔白米三十二錢下等二十九錢內外なりされど每市日に各地より搬出しつゝある半搗米は二十七錢臺にして鎭川陰城方面の市場に於て取引せる相場は過般狂騰の最高値段二十七錢を越へず順次漸落目下二十五六錢にて販賣されつゝあり(淸州)

# 戰塵

## ★募兵不成功　日本兵の進擊に怖氣立ちて

チタに於ける過激派は動員を行ひ該軍隊輸送の爲めチタ及びダウリヤ間後貝加爾鐵道の旅客列車の運轉を中止したりと尙ほネルチンスクに於ても七千人の勞働者を募集したるもチエック軍と日本軍とが進擊し來るとの風說に怖氣立ちたるものか募集に應ずる者半數にも及ばざりしと

## ★五將校銃刑

過激派はカルイムスカヤに於てイルクツクより逃走し來れる五名の將校を銃殺したり又過激派軍司令官ラゾーはダウリヤ、カルイムスカヤ間の戰時狀態なる事を布告し又反革命と爭ふべき赤衛軍の動員に參加すべしと通告したり而して尙ほラゾーの參謀部並に過激派軍はダウリヤに前進せりと露紙は報ぜり

## ★捕へられし大佐

露紙の報道によるにウエルフネウジンスクに於てチエック、スロヴアーク軍はレニン政府委員にしてチタに赴かんとするイワノフ大佐を捕縛したるが大佐は軍笠の服裝をなし居たるが右はレニンより赤色軍拔隊の指揮官に任ぜられ軍隊の動員を爲しつゝある僞山

## ★ダブリヤ戰線

哈爾賓に到着せるロフウイツキー大佐麾下のチエック、スロヴアーク軍はダウリヤ戰線に出發す

## ★ホルワツト軍

グロデコウよりの報道によるにホルワツト將軍々隊司令部はタルイ待避驛に移轉したり(哈爾賓)

# ○平和の曙光も恐る可き禍亂も　此の刹那の機微より生ず

## ×國民の戒愼すべき重大時機×

在大連の某將軍は語りて曰く北滿出兵は世間の議論の間に愈々決行せらるゝ事と成れり吾々軍人界の持論としては元より其の當を得たるものとして本懷の至りなり此出兵をして其の意義を全くし出兵の目的を遺憾なく貫徹せしむる事は國民全體の後援を俟たなければならぬ今回の如き我國としては前例なき異論百出し國民の多くは其の出兵が如何なる理由の爲めに敢行せらるゝやと云ふ大議論にも通ぜざる者頗る多し

### 之れ各方面に惡例

を遺すものとして一つの憂ふべき現象ならずんばあらず此の際政府當局者は固より有らゆる有識階級は此の國家の高等の目的を信じ之れを宣傳し國民輿論の統一を圖らざるべからず輿論の後援なき出兵及び戰爭は其の結果國家が不祥事を發生し大なる不祥事を齎すのは東西兩洋の歷史が吾人に繰返して語る處なり今や北滿の地には我軍の向ふ處敵なく殆ど無人の地を守備するに過ぎざる如く考ふる者頗る多し然れども我國民は深く吾々が聯合軍中の

### 如何たる地位に立

ち居るや考覈せざるべからず我國が北滿に出兵し東方西伯利亞の秩序整然たるに至らず獨逸は自然に後方の壓迫を感ぜざるを得ず共の對露政策としても或は(否多くの場合)此の方面に勢力を轉じ露國と共同して殺到するに至るべし而して今や西部戰線に於ける聯合國は事實に於て戰ひに倦みたり彼等は壘を高くし濠を深くして其の創痍を癒せんとするや切なり

### 此際新銳の日本が

獨逸の背後に出で之れを牽制せんとするは聯合國に取りては少くとも心强き事なり或は其處に平和の曙光の閃々たるものを認め得るやも知れず然れども吾が國民の忘るべからざる大なる危機は亦茲に發生する事を記せざるべからず〇〇列强は日本と〇〇の對峙を策し暗點中に〇〇と〇〇を結ぶに至るべし且つ西伯利亞に於ける

### 日米の勢力接觸に

對しても我國民は亦大なる注意を要すべし人種的偏見は吾人の想像するが如き生優しきものにあらず賑の如く擬じ來れば今回の西伯利亞出兵の如きは重大なる國民の覺悟を要するの秋なり然るに近時吾國民の態度及び言論に徵するに全く此の出兵を風馬牛の如く意に介せず西伯利亞問題を對岸の火災視するの傾向あるは甚だ

### 慨歎に堪へざる處

なり今や吾國は大なる發展を爲すか大なる國步艱に陷るかの岐路に立てり國民たる者宜しく持重して有終の美を收むる爲め常に擧國一致の元氣と愼重の態度とを持續せざるべからず(大連)

# ○經濟鐵道たる平元線(前承)

## 平元吉會線比較　◆平壤商業會議所調査◆

前述に依れば長春方面即ち北滿一帶に對しては淸會線吉會線を利用せば最捷距離となり吉會線の布設亦甚だ緊要なるを知ると雖も淸津をして北滿物資の呑吐港たらしめんには淸津港の大改修を要す然るに同港は殆んど港灣の體を爲さず就中冬季の風波甚だしく荷役頗る困難なる上若し之に完全なる築港工事を施さんとせば少くとも四五千萬圓を投ぜざれば其の成功を期し難き一大不利あり即ち巨額の工費だに投ぜば技術上不可能にはあらずと雖も斯くの如きは到底近き將來に期待する能はず殊に淸津港築港論は咸鏡線の建設を見ざりし前のことにして今や咸鏡線が兩端より起工して數年後に於ては淸會線と相連絡せんとするあるに察せば咸鏡線延長の目的並に多端なる國家の財政よりしても同港修築問題は聊か多難なるを免れざるべく實は固より私見に過ぎざるが假りに平元兩線と淸津港を實現するものとし吉會淸津港とこの距離關係を比較せば自ら兩鐵道の使命を異にするを知るべく決して競爭線にあらざること判明すべし淸會線に依りて奉天に到る線は大阪敦賀間一〇二二哩、敦賀淸津間四八四哩、淸津長春間四一七哩、長春奉天間一八九哩合計一、一九二哩なり、之れを平元線に依れば大阪敦賀元山間四六七哩元山平壤間一四〇哩、平壤奉天間三一八哩合計一、〇二七哩なり之に依て此を觀るに淸會線並に吉會線は淸津の築港を基礎とし敦賀淸津間の直行航路に依ると雖も奉天附近即ち南滿地方に對しては平元線が遙に距離に於て優越を示し其の差實に百六十五哩なるを以て平元線に依るものは更に奉天より八十二哩餘を北進し開原の北方昌圖附近に於て吉會線に依る距離と伯仲するに至るべくされば大阪對滿貿易の輸送經路は同地に於て兩線距離上の分水嶺を劃するものと言ふ可く平元線の對滿蒙勢圈の範圍又大なりと言はざるべからず

# ○眞鍮細工業

慶北一部長　吉松憲而氏調査

奉化郡は慶尙北道の最北端に位し耕地少く全面積の約七割五分强は山野を以て之を占め太白山の森林地帶には鬱蒼たる國有森林を形成するものあり、故に住民の多くは農にあらざれば樵夫なりしと雖も近來國有林野の盜伐嚴禁せられたるにより後者は全く途を失ふに至れる狀態にあり、此の如く從來山間の僻地として何等の加工的產業のあるべしと思惟せられざりし土地に於て意想外にも今回盛なる眞鍮工業の存在するを發見するを得たり、由來朝鮮に於ける工業は最も不振の狀態にありて國民の經濟を向上せんとするに就き家庭工業の振興は最も缺くべからざるものとす、我慶北に於ける工產額は其大部分は都市的稍大規模的にして家庭的副業的のもの少し、今回發見せし此の部落工業は眞に在來業の發達は朝鮮人の生活上重大なる關係を有するものとす、何となれば朝鮮に於ける日常缺くべからざる什器の多くは眞鍮製品たればなり、故に今回此の如き有益有望なる家庭工業を發見するを得たるは獨り我慶北道の幸福のみにあらざるなり。左に其概要を述ぶ

◆工場沿革　本工場は奉化郡乃城面三溪里にあり、誌に就きて正確なる沿革を知るを得ざるも三百年前の創始に係り漸次發達して今日に至ると謂ふ、現今の主なる者は同郡物野面北枝里朴原浩なる者にして其經營二代に亘れり新政以來交通運搬の便開くるに伴ない本事業も益々發達し生產需要共に其數を增加せるは喜ぶべき事實也

◆工業部落　三溪里は奉化郡廳を去る北方約半里の所にあり全戶數七十七戶人口四百二十八人にして純農業者二戶を除く外概ね眞鍮職工及製品の販賣を業とする狀態にあり之を表示すれば次の如し

| | 工業 | 商業 | 農商業 | 農業 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 戶數 | 三一 | 二七 | 一七 | 二 | 七七 |
| 人口(男) | 一二三 | 六九 | 四二 | 六 | 二三〇 |
| 人口(女) | 七五 | 五八 | 五〇 | 七 | 一九八 |

◆生產額　前記四十の工場に於て一箇年の生產額約五萬圓乃至六萬圓に達し本郡工產品中の主位にあり、今製品中の主要なるもの、生產數量及び其價格次の如し

| 品名 | 箇數 | 單價 | 價格 |
|---|---|---|---|
| 大陽風 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 自耳陽風 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 掛口 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 洞口 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 大鳴釜 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 七鳴盤 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 步宗 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 接匙 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 湯器 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 蓮葉 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 王器 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 大食山 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 小陽風 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 大陽口 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 典也 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 藥大匙 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 合計 | [illegible] | | [illegible] |

此外雜種並に臨時製作に係る製產を合すれば優に前記價額の生產能力を具備すと謂ふ、然れども其の經營方法は甚だ雜駁にして之が數量の如きも何等記錄なく、經營者の槪括的記憶に依るものなり

◆販路　今や前記產額に於ては世の需要を充たすこと能はざるの狀況にあり進んで相當の生產能力を高むるも尙其の販路に苦しむが如きことなしと謂ふ、而して其の主たる販路は榮州、尙州、醴泉、金泉、安東、義城、靑松、盈德の諸郡を始め本道全般に亘り所謂乃城眞鍮の名聲を恣にし更に大邱を經て慶南に入るものあり、忠淸南北道、江原道、京城附近に入るもの亦少からず需要に對する生產力は全く不足の狀態にあり

## ○咸北の牛

本年咸北道に於ける產牛輸移出狀況を見るに國境方面より露領浦鹽斯德、支那領へ輸出されたるものは一月より六月迄上半期間に於て一千三百六十九頭其の價格八萬四千四百四十圓なり又海路城津より內地へ移出されたるものは三月日本海橫斷航路開始以來七月末までに於て八百二十七頭其價格三萬四千五十八圓に達せるが中十二頭は船腹の都合にて下關に揚陸したるも他は悉く敦賀に仕向けられたり(淸津)

## ○吉野太左衛門氏

吉野太左衛門氏十六日朝大連著遼東ホテルに投宿滿鐵都督府其他二三有力者と會談十九日發北滿洲方面に向ふ筈(大連)

## ○魚に不自由

去る五月末より開始せる滿洲魚菜果實賣市場も近時魚類拂底毎日三箱位の著荷にて相場も頗る高値目下鯛百匁三十五錢鯖一尾二十五錢とラメ二十錢鯖一尾二十五錢牛の舌百匁二十錢にて市中に販賣されつゝあるが近時諸物價の騰騰に伴ない購買力減じ中流家庭に於て食膳に上する如きは控へ目の狀態なり(淸州)

# ○蟲の山

## 熊と山櫻の實

平壤高普教諭　七尾寬暢氏談

李朝始祖が調馬の古蹟

植物採取の爲め咸南、平南、黃海各道附近の地を跋涉して此程歸來した平壤高等普通學校教諭七尾寬暢氏は平南陽德郡の山の蟲に就て左の如く語つた(平壤)

◇枝から枝へ傳はつた◇

◇地上にものろ〳〵して◇

霞嵐山は平安南道陽德郡と黃海道谷山郡との境界にある海拔五千尺程の山であるが其山は九合目位迄は灌藥樹林で唐檜類が非常に繁茂してゐるがそれから上には灌木ばかりが茂つてゐる、其の丈は大抵四尺六寸位で其附近には無數の蟲がのろ〳〵と這ひ廻つてゐるて其灌木の恰度手で搔き分ける位の處を枝から枝へと傳はつてゐるのもあれば地上にも折重なる位になる處もあるそうで只氣味が惡いと云ふ事である、この蟲は內地のと同じばかりではなく隨分危險だと云ふ

### 西伯利亞蟲といふ

稀族である此山の頂上に丈四尺位の巾二尺位の碑があつて、それには「馳馬基」と橫に楷書で書いてあつて隨分古いものらしいが何の碑であるか別らぬ傳說には李朝の初祖李成桂が此處で調馬を行つたと云ふ事である大體此山には草木類は非常に少い樣である

### 面白い事には此山

の櫻の實を熊が採つて食ふらしく隨分大木を荒してあるが中には大木の枯死して倒れてゐるのを引起してソコに棲息してゐる跡なども採つて食ふた樣な形跡もある

## ○敎育品展覽會

大連に於て八月廿五日より八月三十一日迄南滿洲敎育會主催にて南滿洲敎育品展覽會を開催することは再三報じたるが右に對し學校職員各地敎育會員學事關係者が觀覽の爲め汽車に乘る場合同會又は所屬官衙發行の證明書(職業氏名年齡を記し觀覽者たることを證明せるもの)ある者は右證明書と引換に往復二三等に限り乘車賃金朝鮮線三割引滿洲線五割引(但し新義州安東間は割引せず)とする由又乘車券は八月二十日より同廿八日まで朝鮮線各驛にて發賣し通用期限は發賣當日より九月十日までとする由(大連)

## ○銀行員處刑

安東銀行々員酒井惣一(二〇)が同銀行の小爲替券一千圓を僞造詐取せし件に付其筋に於て審理中の處懲役一箇年の判決ありたり(安東縣)

# 農信

## ◆慶南陸地棉近況

慶南地方にては降雨連續の爲め成育は良好ならざる狀況なるも陸棉は昨今開花盛りにて開花の模樣は一般に憂慮する程不良ならざるため平作位ならんと尙ほ本年も九月中旬に收穫豫想を發表すると共に賣收人を指定する豫定にて慶南道は例年の如く朝鮮棉業會社及び淸水佐太郎氏の兩者に指定すべく賣收事務は十月一日より開始すべしと當事者は語る(晋州)

## 寄書　煙草問題に就て

某煙草製造家の談を讀む

忠州　福田幹治郎

煙草輸出制限問題にて東亞煙草の某製煙家談を一讀するに云々とて左記二點を指摘されたり

(一)原料葉莨の價格對抗作物に比較し步合低しとの耕作家の見解は事實にあらず現今朝鮮に於ける葉莨耕作の收穫は凡ての對抗作物よりも遙に優良なることは何時にても計數を以て明示する

右は如何なる根據を有せらるゝや知らざるも本郡の賣耕作實況より觀れば一の空想なりと信ず本來特種作物たる莨を米大豆と比較するは當らずと雖も試に大正五年一月と同七年一月とを比較するに

大正五年一月(米)二二、九八〇(大豆)六、九一〇(葉莨)二一、一一〇(生葉)

大正七年一月(米)二二、八六〇(大豆)二一、〇二〇(葉莨)二一、一五五(生葉)

以上の如くにして他作物の昂騰今日の如きに比し莨の騰貴奈何に微弱なるか一目瞭然たるにあらずや本年八月に至り葉莨及び生葉の値上を其筋より告知されたるも本年度の賣は來る十月に至らざれば收穫を了するに至らず故に値上は只告知のみにて實際取引上の事にあらず但し昨年は前年よりも一箇等級の引上あり其爲め前記の如く一貫目に付四錢五厘の騰貴を見たるが本來一箇等級は二十錢違ひなるを以て四箇等即ち八十錢の引上を見るべき筈なり然も昨年一箇等引上の平均率は四錢五厘なるが故に無事に此の八十錢を贏ち得るや否や豫じめ知るべからず

(二)忠州の耕作物は北產葉を悉く東亞に賣込み居る如く記し居るも朝鮮其他の會社にても之を引受け居れり云々

事實或は他の會社も引受け居ることなるべし然れども其量たるや極めて微々たるものならん我々耕作人は常に東亞よりは我等の作物全部を引受け居るものとのみ信じ居たり

尙同議は右二點の外本郡耕作人の利害に關係なきも其仲買人を排斥し居れる本郡には仲買人を要せず之れ元より當然の決定なり本郡にては本年稅令改正の結果は當然彼等の援助を要せざるべく又分配の價の決定は本郡同樣の取扱ひを大邱其他に要望し居れるが是れ稅令改正の要旨自ら茲に存するものと解せらるゝが如何にや


演藝案内

有樂館　米國ユニバーサル會社特約　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話(本局)二〇五番
當る八月十六日より公開
◎實寫　鰐狩　全壹卷
◎人情活劇　米國ユ社バイソン映畫　馬賊の最後　全貳卷
アイリン・セジウイツク孃出演　フレッド・チヤーチ氏　ユニバーサル社第三回新傑劇特作品
◎社會劇　拜金狂　全五卷
名優　メリー・エディ　ヤー・マイラレン氏出演
◎新喜劇　物價騰貴通し
大餘興同一同と好評を博せし實演
○人情活劇　人民　全五卷

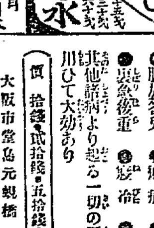
浪花館　明治町二丁目　長電二六〇番
○八月十四日より開演　東京大阪合同落語大一座

壽館　本町二丁目　電話一〇五〇　八月十九日七回目替

黃金館　電話二六二七、二六六
◎眼覺しき大寫眞◎

大正館　櫻井町　電話八七三
◎味原池心中　全三卷

入札期日變更
明治町土地賣却入札期日ヲ九月二日ニ變更ス
李王職



大阪市西區新町通二丁目
本舖　田知本和三郎製
各藥店に販賣す振替大阪二八八番

不思議に効く
乳の出藥

大連燒酎
特約販賣店
仁川　河野本店
京城　河野支店
木浦　阿邊儀商店
同　山口號本店
同　山本酒店
群山　山口號支店
同　長谷川商店
釜山　增永商店
同　山邑支店
鎭南浦　吉富商店
大連市大連燒酎製造所

鑛物　分析　鑑定
最も安全確實迅速
日本西部鑛試驗所
博多　鰯町

高貴藥配合
くだりどめ
最新良劑
清腸
高橋盛大堂藥局試驗部創製
主効　腸加答兒　赤痢　裏急後重　腹痛　吐瀉
本舖　大阪市堂島元蜆橋　高橋盛大堂藥局

特約店
釜山著名商店案内

福榮商會
酒精、燒酎、西貢米、碎米、砂糖、麥粉
釜山埋立新町　電話長一一八番

雜貨問屋

洋酒　鑵詰　糖粉
釜山　あづまや商店

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋
釜山　山西商店

內地材各種　鴨綠江原木卸商
平野材木店
釜山榮町出張所

金銀箔
黃銅鈔　無地金屛風　押紙
金箔鉛商
右各種製造發賣
京都市御幸町御池南入
堀至善堂
振替貯金大阪六〇四番

# 商況

## 東京期米特電

十九日後場 一節 二十六圓九十九錢 三節 八十錢 止め 二十七圓四丁度
二十日前場 二十七圓三十四錢

## 兵庫期米特電

休會

## 大阪株式特電

宇治川水、大阪電燈、東洋紡績、合同紡績、鐘淵紡績、同上新株、東洋製糖、大阪商船、日本郵船、同上新株、堂島米穀、東京株式、大阪株式 [illegible]

## 大阪三品特電

[illegible]

## 大阪期米特電

十九日後場 八月限 四一〇、一〇 九月限 …… 十月限 …… 十一月限 …… 十二月限 …… 一月限 四〇三、三〇

## 下關期米特電

停止

## 雜報

●綿糸布跳返す 十九日の大阪三品市場は前場當限四百八十二圓先限四百四十四圓丁度と立會の內氣配通り休日前より[illegible]七圓高と報ぜし後場は一後上伸 當限四百三十圓十錢先限四百三十一圓三十錢と騰貴し綿布も三銘柄先物十三圓三十五錢の高値を入れたるより同時に人氣沈靜の模樣なりし當綿布界も之に依つて市況再び色めき立ちて商內漸く盛んなり相場さ粗布三エー三百五十五圓二十五錢跳返し前日の高値を拔くに至れり

●正米狀變り 正米は市中鮮白の缺乏の爲に頗ろ されし一部鮮商の投げ物らしき賣物出でたるが爲め昨午後の當市況は稍々亂調なり氣味さ二十八圓四五十錢より安さは二十八圓以下にて手合せ出來たるもののありしが今朝は人氣一轉狀變りの模樣にて本日玄米三十四十錢在來種二十九圓四十錢見當を唱へられ前場は一圓以上の高値にて結局昨午前中四十錢安つに至れり 保合 朝來の內地及其他の原因は玄白米の高値買注文入り込みたるが爲め地のみならず釜山群山方面を初め仁川市場にも此際の注文多きが如く從つて之等地方は相場及び品薄模樣にて當地は又第一割安場所となり他所よりの買注文入込まんとする需要べき在米も漸く一萬叺內外に過ぎずとの觀測多くりと

●雜穀の近況 前月下旬以來商狀引立たず越月後は漸々不味に傾き數日前遂に一齊下落を演出したるが何分にも外國は滿洲物は勿論米國物も更に輸入なく品薄の模樣なるが故に最近一回復の模樣付きたり氣配宜し

●米安影響 米價騰貴の影響を受けて頗る品薄なる小麥粉は在品少數の爲めに[illegible]一般見當に引付けられ居り相場は二十日付大阪入電によれば同地製粉市場は無見當にて相場立たざるも到底何等の動きなくして相場は依然たるべしと

●麥粉弱持合 製粉は官製品薄なるも唱へ難く値段不引合にて品薄の見込べきものなく當市中在品は少數の賣殘りあるのみ

●賣止め同樣 米價騰貴の影響を受けて[illegible]

●靴 久しく取引杜絕せし鮮人靴は最近漸く[illegible]

●露領輸出向の製 [illegible]

●リボックス 皮の需要の關係時期にて市況依然不振

●特種の大需要 [illegible]

●輸入多く 滿洲產の羊皮 [illegible]

●ツキ 一圓方引戾し 十圓高 五

●皮革類區々 象皮は米國物一部の輸出不足なるも一時の安値[illegible]

●地場需給均衡 米の收穫少なく今後追加注文の狀況より何等の變化なく[illegible]

●硝子板大騰 今回硝子板一函に付二圓高と云ふ突飛値上を發表したるが其原因は諸物價品騰のため製產費增加し殊に海外輸出多額に上り品不足なることにて遂に製造筋も値段を引上げたるものなるが先行き一般需要は更に高値を現すべし

●大麥は強硬 大麥は引續き朝鮮産の買進み盛んに行はれ漸次地方に迄手を伸ばしつゝあり今朝の相場は舊物十一圓五十錢見當にて目下の處なきも硬化の氣配は遂日硬化の模樣なり

●染料荷動良好 染料は冬向き染織筋の需要漸く起り地方又漸次に注文加はり來れる爲め北廣六物は荷動き好調なり

●染織用藥品 [illegible]

## 下關相場

朝鮮米は產地騰貴の模樣にて前後共に[illegible]

## 各地商況

大邱米況(十九日) ▲正米引續り昨一圓高と好勢に手合ありたる模樣先在米漸く內地筋方面よりの引合頻々[illegible]

▲小麥 昨十七圓二十錢見當にて[illegible]

## 仁川正米

[illegible]

## 南大門廻穀

[illegible]

## 仁川期米

十九日後場 [illegible]

二十日前場 ▲第一節中先共に出來不申 ▲第二節中先共に出來不申 ▲第三節中先共に出來不申 ▲第四節中先共に出來不申 ▲第五節中二十八圓二十二錢に[illegible]

新規賣買停止中

## 市場雜觀

▲昨後場は一節に中限二十八圓三十二錢にて六百石先限二十六圓六十錢にて六百石の解合商內行はれたるのみにて後場一節で停止

▲桑名二十七圓二十八錢 堂島 大阪 取引所は明後二十二日より立會開始

▲天候好順にて今朝は中限に五十石[illegible]

## 釜山穀物市場 十八日

▲玄米品騰兹 [illegible]

## 兵庫下の關立も

▲會開始に至るらん 東▲二十七圓三十 ▲四錢

大天災期の眼前 目先幾の分

[illegible]

## 北濱たより

▲目先は保合 [illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人

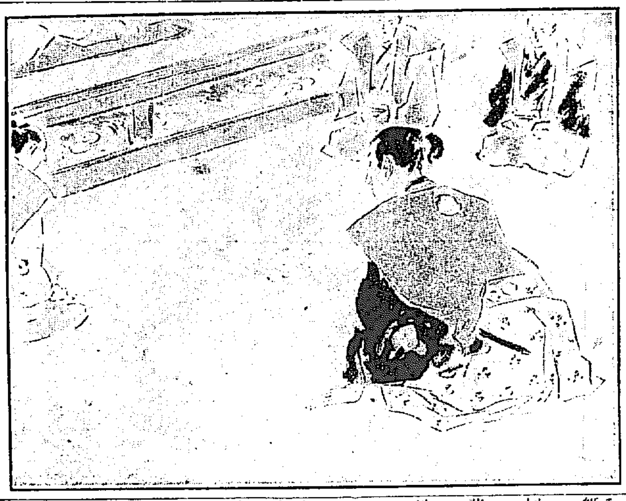
# 高田仲買店

前金御注文は一口金五百圓(?) ●營業案內及紹介不要 電信略號 仁川海岸町三丁目 電話長一一九

▲大株と大新 [illegible]

## 塚原卜傳

第百七十二席 悟道軒圓玉口演



天正十六年四月、豐臣秀吉公中村式部少輔一氏を使者として卜傳の次男小才次を差添へ、飛驒國乘鞍ヶ嶽の山中なる卜傳の住居へ遣はし、聚樂に於て來る五月五日諸國の武藝者を集め大試合をなす、龜井茲矩の望みに依つて卜傳この勝負御覽ありたき趣き、大儀ながら上洛をいたされたしとの上意を傳へました、卜傳珍らしく伜小才次が中村式部少輔を伴なつてまりましたから不審に思ふ所へ右の上意、一旦は辭退しましたが重ねての頼み、自分も龜井とは一度試合をして見たく思つて居た所でありますから遂にお受けに及びまして茲で久々で山中を立出で、中村一氏に伴なはれまして京師へ乘込んで參りました、山中へ入つてから八年目で世の中へ出ました、伜小才次は十八歳となつて居ります、京都へ來て見ると變り果てた有樣、今は悉く秀吉公の支配でありますから其出世に驚きまして、滑りなく聚樂へ著きまして秀吉公へ對顏に及びます卜傳此時四十五歳であります、秀吉公御機嫌好く「秀『絕ねて久しき對面御身も乘鞍ヶ嶽に隱遁したりと聞つるが壯健の體にて何より喜ばしい今回はまた遙々遠路を招きに應じての上洛大儀に存じ申す』と鄭重なる會釋、卜傳も謹んで「『公にも麗しき尊顏を拜し卜傳大慶に存じ奉る、世を捨てまた世に捨てられし拙者、乘鞍ヶ嶽の閑居に思ひ寄らざるお招きの上使、聚樂に於ては何時ぞや御前勝負と承り卜傳身に餘る光榮と存じ參上仕まつてござりまする』秀『能くぞ上京下されたまづ休息あつて宜しうござらう』と京師の茶亭、茶屋四郎次郎の宅を以て卜傳の旅館と定め、御前勝負が重んずべき待遇をいたしました、さて愈々五月五日の端午の節句と相成り、今度聚樂にて御前勝負あり、日本全國より武藝者の遠近より上洛に及ぶ武藝者引きも切らず、取分け當時日本に於て東國の龍と稱されたる塚原卜傳と西國の鳳凰と稱さる、龜井茲矩との再度の勝負があるといふので城以來再度の勝負の話の種にせんと我人共に思ひますから上京する老若男女數を知らざるほどでございます、聚樂の第に於ては四方の門を開放して四民の拜見を許し、試合の場所は庭上にて白砂を敷き蓆を打廻し、召寄せられたる武藝者は東西に分て控へさせ、塚原龜井兩人は緣の上に座を定めて居ります、其他は拜見の人を以てさしも廣き聚樂の庭上も埋まるばかり打出す大皷を合圖に正面には關白秀吉公御簾を揭げて坐し給ひ右の方には駿河大納言德川家康公賓客として坐に著き給ひ、三好中納言秀次北畠中納言信雄を初め國守大名の面々威儀を繕ろひ居流れまする有様左の方には寵所の從松の丸三條加賀の兩局を初め花やかなる如性籬中にあつて勝負の役を勤めらる、寔に空前絕後なる大試合であります、第一番に立出でましたのは佐分利流の槍術指南越前國の住人佐分利左內、管槍を執つて東の幕中より出で、西の幕よりは卜傳の次男塚原小才次、卜傳流の木劍を執つて立出で一禮してやッと構へる卜傳伜にとつては大敵の佐內、見苦しき敗を取らねば宜いがと心配して目を放たず見て居る中、閃熟してパッと飛込んで打下す小才次の木劍、左内つゞけざまに打つてと小手を許へ槍を繰込み、二三打てば開き開けば付入り秘術を盡して打合ひましたが小才次先つて打込んだ木劍、左內槍を打落され、參つたと聲を掛けて引退がる、流石卜傳先生の子だけあつて美な勝と一同ヤンヤと喝采する。

## 幾野醫院

龍山元町(電話二〇四番)

## ●馬山持越煙草

馬山府に於ける八月一日持越製造煙草は一日以來府財務係殆んど全部にて晝夜兼行製造者及び販賣者の工場又は店舗に出張し調査しつゝあるが漸く八日を以て一先づ之を終了するに至れり今其持越高を聞くに總個數十五萬二千八百十四個にして小賣定價の改定を爲したるものは左の如し

| | | |
|---|---|---|
| 紙卷煙草(口付) | 舊小賣定價 | 一〇、三八一個 |
| | 新小賣定價 | 一、五六三圓 |
| | | 二、〇一八圓 |
| 同(兩切) | 舊小賣定價 | 一〇九、二七一個 |
| | 新小賣定價 | 三三、三八圓 |
| | | 四三、〇三圓 |
| 葉卷煙草 | 舊小賣定價 | 三個 |
| | 新小賣定價 | 八圓 |
| 刻煙草 | 舊小賣定價 | 三、二七個 |
| | 新小賣定價 | 一〇圓 |
| 計 | 舊小賣定價 | 一四二、九三三個 |
| | 新小賣定價 | 五三、六五圓 |
| | | 六、九九一圓 |
| 小賣定價の改正を爲さざるもの | | |
| 紙卷煙草(口付) | 小賣定價總額 | 一、九七〇個 |
| | | 一、八七〇圓 |
| 同(兩切) | 小賣定價 | 六、五二一個 |
| | | 一三二圓 |
| 刻煙草 | 小賣定價 | 一、三九〇個 |
| | | 二八四圓 |
| 計 | 小賣總額 | 九、八八一個 |
| | | 七二一圓 |

而して尤も持越品の多かりしは紙卷莨にしてウエルスの四萬三千三百六十三個へルメットの一萬七千九百七十九個朝日の一萬三千四百三十七個にして之れにつぐもの香取九千七十三個新羅八千四百二十六個飛行機八千百五十五個口コスモスの六千七百四十三個金コス四千八百五十八個二鷗四千四百五十個百圓三千七百六十五個南大門三千三十四個刻み莨にてあやめ千九百二十五個を首位としてさつき五百七十九個はぎ五百七十四個はつひ五百十四個千鳥四百七十五個等の順序なりこ(馬山)

## 曆

八月廿二日 九星 舊七月十六日 辛丑 本命二黑 坤取佛滅

▲二黑 親切の屆かぬ事有日新事見合東方は吉爭論あり▲三碧 何となく氣に入らぬ事有日新事手控へ事掛物も吉▲四綠 不容錄の事有日新事手控へ事は吉高時喧嘩にせらるべし▲五黃 立ら損がろべし▲六白 疑惑の日轉居旅行入學出漁求職金件婚禮慶祭祭等吉▲七赤 成功の日轉居行商入學名弘求職建築金件移轉船乘等萬吉▲八白 苦かぶり論の事有日新事手控事は吉萬事入念にせらるべし▲九紫 安全の日轉居開移入學名弘求職出漁金移談讀山發等萬吉▲一白 閒のびな事有日新事手控へ事は吉一切のかけ事を禁ず

山縣五十雄村上唯吉共著
## 富の道しるべ
價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三〇〇 京日代理部


國中津々浦々に至るまで葡萄酒といへば……

七大醫學博士の賞讚ある

# 赤玉ポートワイン

が夏の保健に盛に歡迎されてゐます

水や氷やサイダーに赤玉ポートワインを適宜に混せて召上れ云ふに云はれぬ美味さで加るに殺菌力强大なれば惡疫を豫防し胃腸を强健にし夏季には欠かしてならぬ滋養强壯飲料です

# 中風病きちう

余が家は祖父及び父と母の三人も同病にて困難したる遺傳系統にて小生之を患ひしが家傳を依り驗を得たる結果は其書を呈す代に良藥を郵券三錢添附の方に詳報す一千人に限り名士題字の記入照會の方に遣書無代進呈す

兵庫縣明石中町 加古忠兵衛

模範 牛乳 ニウソ 御用 石鹼 洗粉
<br>製造 太正肥塚 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二一番

八木田博士御處方 島田博士御鑑査
# アナタの胃病にはマーゲン
強胃消化錠
本劑の特色 二博士確證の本劑マーゲンは從來のものと異り其效は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃腸を治し常に[illegible]
大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房



## 日本郵船出帆

相模丸 九月 日 正午
砂田丸 八月廿八日 正午 大連、天津行
酒田丸 七日 正午出帆
高砂丸
仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀回漕部

## 釜山出帆廣告

◎元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三平安丸 七月 日後四時出
◎門司、宇品、神戶、大阪行 第三平安丸 七月二日 後四時出
◎天草、濟州島行 佐須奈丸 七日 四時出
兵佐丸
釜山港埠頭 大池回漕部

## 尼崎汽船出帆

下關、大阪行 大有丸 八月十八日 後四時出
第二大湖丸 八月十九日 後四時出
群山、木浦、下ノ關、大阪行 秀吉丸 八月廿一日 後四時出
群山 君が代丸 八月廿三日 後四時出
仁川海岸通二丁目(電話九番) 高杉回漕部

## 大阪商船出帆

神戶、大阪行(仁川出帆) 朝日丸 八月廿六日 後五時出
日清丸 八月廿二日 後五時出
×群山、木浦行 寰東丸
西湖津、清津、城津、新浦(元山出帆) 宮島丸 八月廿七日 後十一時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 宮島丸 九月二日 後九時出
◎上海、北陸、打狗行(大連出帆) 湖北丸 八月廿七日 前六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲、南洋、臺灣、滿洲、北米、濠洲、南米行 毎月二回 毎月一回 一年四回
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇二一番

## 共同汽船出帆

大連南行(關東都督府命令船) 共同丸 八月二十二日前仁出港入港 一廿三日 後
朝鮮鐵道經營大連にて南滿洲鐵道經營
京城 仁川 元山代理店 仁川代理店 京城取次店 河村運送店

## 朝鮮郵船出帆廣告

◎浦汐行 平壤丸 九月七日
越後丸 九月十日
◎雄基行 ▲雄基丸 八月廿三日
咸鏡丸 八月廿八日
◎三浦丸 八月三十日
◎大阪行 越後丸 八月廿日
◎金剛山遊覧 長崎丸 八月廿七日
◎濟州島行 恩德丸 八月廿七日
◎釜山浦項線 江陵丸 每日
◎濟州島行 公州丸 八月廿二日
◎東廻 西廻 昌平丸 八月廿七日
◎釜山麗水線 海州丸 每日
◎木浦麗水線 順天丸 八月廿五日
◎多島海行 慶寶丸 八月廿一日
◎木浦行 金海丸
◎海州行 錦江丸
◎鎭南浦行 南陽丸 每日一回
◎香州丸 八月廿五日
◎江原丸 八月廿六日
本社 京城南大門通 電話一九五二
釜山 元山 仁川 木浦 京城南大門驛前 松原運送店

# 京城日報

第五版

[illegible]均しく先[illegible]の平和を回復するにあらざ[illegible]せず[illegible]省内の安寧秩序維持に任[illegible]じ省内の秩序を破壊するものあらず北鮮たると南鮮たるとを問はず均しく之を公敵と視做して討伐[illegible]の[illegible]なく未だ何等の回答を與へさるが段總理は心中[illegible]する處あり即ち政府方面の[illegible]時現狀を維持して以て[illegible]

[illegible]し[illegible]隊の[illegible]に從事せるもの少からず不逞の徒其間に混入して[illegible]するものなきを保し難しと爲し[illegible]程之れが取締に關し各縣知事に對せしむることを許さず以て奸人の混入を防ぎ且つ本署に急報して其眞僞の取調べに便ずべし又本署より指令せる該縣に赴き募集するも[illegible]を防ぐべし

二、外來の應募者に着意査察し以て奸人の混入を防ぐべし

三、募集の兵一個大隊の人數に達したる時は速かに輸送せしめ長[illegible]

[illegible]に改めたるが現在申込累計高は[illegible]に一萬二千八百五十五圓に達せり(釜山特電)

## 京城日報

## 朝鮮貴族を警む

本邦華族が皇室の藩屏として、截然たる一階級を立てたるは、其の職責を歴史に發し、根柢を國民性の上に樹て、社會的地位に因りて確定せられたるものにして、世界に於いて其の類例殆ど罕なり。故に彼等は徒らに社會の上流に占據し、尸位素餐を貪るものにあらずして、國家的に、社會的に、はた個人的に其の負荷する所甚だ多し。朝鮮貴族は聊か之と趣きを殊にし、同じく國家の優遇を受けつゝありと雖も、歴史は短くして根柢は淺し。之に向つて本邦華族と同樣の自覺を促さんとするは、少しく無理なる註文たるを免れざるべし。然れども既に社會の上流に踞坐し、衆民瞻視の標たる以上は、それに相應せる社會的又は道德的の責務の伴なふべきは當然なり。然るに實際に於ける朝鮮貴族の態度なるものは、吾人の希望に充たざるもの甚だ少しとせず。餘事は暫く置いていはざるも、其の社會民衆との交渉を察するに、其の間頗る冷淡にして、所謂越人が秦人の肥瘠を視るに類せり。假へば目下の如く物價飛騰、細民各々に衣食に窮し、畏くも上御一人の宸襟を惱ましまつるの際に當り、心あるものは持分に應じて窮民救濟に盡瘁するを眼前に見ながら、獨り朝鮮貴族のみは冷然として吾不關焉の態度に在るは如何。眞に是れ眼前の一事のみ、而も一事は萬事たるを忘るべからず。若し朝鮮貴族にして眞個に社會民衆のために、衷心同情の涙を灑ぎ其幸福と向上とを希圖するの念慮あらしめば、朝鮮人民の狀態は今少しく改善し、社會競爭場裡に於て、今日の如く多數の落伍者を出だすべき顯著なる傾向を抑止すべき筈なり。彼等の中には下民に接觸するを以て、其の自尊心を傷つくるものなりと思惟するものなきにあらざる如きも、是れ甚だしき謬想なり。英國の貴族は大抵舊時の土豪にして、本質頗る朝鮮の舊兩班と相似たり。而も英國貴族の社會公共事業に熱心なるは、本邦華族等の遠に及ばざる所、況んや朝鮮貴族の如き、其の門檻すら窺ふべからず。彼邦に於ける慈惠救濟事業の大部分は、貴族の出資に因りて經營せらるゝといふも決して過譯にあらず。此の如きは固より資力の豐富なるにも因るべしと雖も、一は人道上の觀念頗る發達し、加ふるに永久の利害等を察知するの聰明を具ふること實に最大原因なりとす。若し英國貴族をして此の觀念と此の聰明なからしめば、社會風潮の險惡なる彼土に在りて、今日に至るまで其の光榮ある地位を維持するを望むべからず。否よ露國貴族の如き、慘憺たる末路の悲劇を演じたるにあらずや。是れ朝鮮貴族等の鑑みて、一は以て矜式し、一は以て戒むべき最好實例なりと考ふるなり。いふまでもなく、朝鮮貴族の資力が英國貴族に對して百の一にも足らざることは吾人の知悉する所なり。而も朝鮮に於ける施設は、之を英國に比するに、其の要する費額は百の一にも及ばず、相應の力を以て相應の事を爲す、決して至難事にあらずと信ず。若し猶資力之に堪へずとせば、人間の力を致すべきもの、何ぞ獨り金錢の上に限らんや、宜しく渾身の精力を捧げて社會公共に貢獻するを努むべきなり。眞に其の精神目的の神人を感孚せしむべきものならしめば、之に要する資金の如きは、求めずして之を得べし。諺に『渠成れば水至る』といふは是のみ。

遊手徒食、何事をも爲さず、何事をも考へず、漫然として日月を送るは、朝鮮貴族の以て其の自發心を滿足せしむる所なるに似たるも、是れ舊兩班時代の弊習にして、天理にも應ぜず、人道にも叶はず、無論人間墮落の魔道たるを以て、一日も速かに之を洗滌し去るを要す。所謂朝鮮貴族の無爲遊惰を事とするは、兩班時代の特權多くして責務の皆無なるに慣れたる結果にして、大正聖代の今日に於ていは、斷じて相容るべからざることなるを知了せざるべからず。西人の語にいふ額に汗するは、權利を得るの道なりと。神思を勞せず、手足を勞せず、遊食三昧を以て其日を送りながら、光榮ある社會的地位を維持せんとするは、抑も難し。冀くは三思して發奮努力する所あれ。

## 吉林及黑龍金鑛借欵問題

西原龜三氏談

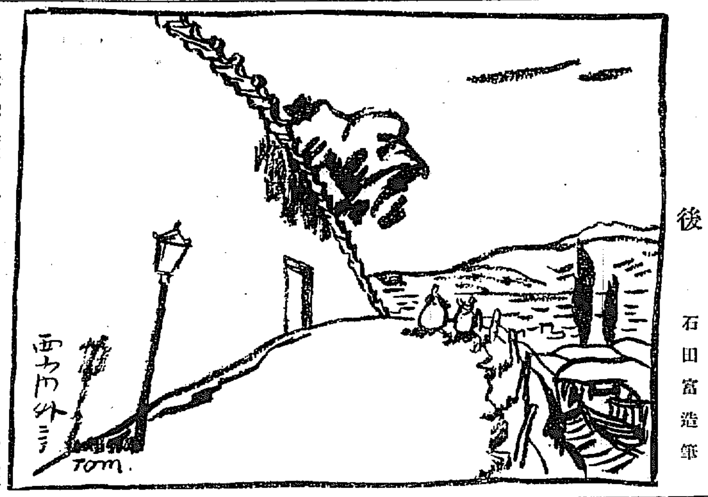
吉林森林借欵黑龍金鑛借欵問題に就ては世人は甚だしく誤解してゐないかと思ふ。此の問題に就ては日本としては些かの關係もない筈である。吉林の森林はこれを伐採して輸入材を防遏するといふ目的から來てゐて

△資金も支那の銀行より支出し何も日本で問題にする程の事ではあるまいと思ふ。只招聘さるゝ技師が日本人であるといふだけである。黑龍江の金鑛に就ても支那政府が國内の開發に就て金劵を發行する。そこで採金局を設置して採金の計畫をしてゐるので之とても單に技師が邦人であるといふのみで日本としては些の關係もない。然るに之を以て日本と支那と深い關係でもあるかのやうに流布されてゐるのは甚だしい誤説である。要するに東洋に於て金の採掘されるのは大いに喜ぶべき事ではあるまいか。元來金本位を標榜してゐる日本に於て何程の金が

△年々採掘されるか朝鮮と併せて僅々二千萬圓内外より無いのである。此位の金では將來が思ひやられはしまいか。黑龍の金鑛は採鑛の設備宜しきを得ば三千萬圓の金は採れるだらうと思ふ。さうすれば金貨本位の基幹を涵養することが出來る譯である。又採金するには、多くの勞働者を要するは論を俟たない、從つて採金の地方は期せずして一市街をなすだらう、さうすれば自然諸物品供給の必要上貿易は盛んになり其他得る所は決して少くはあるまい。元來日本人は譬へば其處に小さい

△一個の金塊があるとすればそれを懷にして其儘歸るといふ樣な、小さい考へを持つてゐるのではあるまいか。或は之が日本人の癖かも知らないが、そんな事では、決して大帝國民として恥かしくはあるまいか、須からく今少し大きな考へを持つてもらひたい。さうすれば、斯樣な事に就いても誤解して騷ぐ樣な事もあるまいと思ふ。興銀朝銀鮮銀のシンジゲートと支那政府との借欵問題に就ていろ〳〵な說を流布するものがあるけれどこれは所謂支那政府と三銀行との間に於て成立する問題で、平たく言へば支那政府より借用を申し込まれ

△それに對して貸だけの信用があればこそ貸すのであつて、銀行としては之れを以て營業としてゐるのではないか、さうすれば決して他人の關する所ではあるまい、寧ろ、日本人としては歡迎すべきことであるまいか(東京電話)



後

石田富造筆

## 兒童學の進歩(九)

於朝鮮教育研究會 高島平三郎氏講演

此の頃個性の研究が教育上喧しく論議さるゝに至つたが個性は如何にして成立するものであるか以下少しく申述て見ようと思ふ。團體教育は十九世紀から二十世紀に至る所謂世紀末から世紀の始めにかけて盛んになり其の結果、劃一的教育の弊として個性に應じて適切なる教育を施す事は稍困難となつて來た。併しながら唯劃一的に教育するのみでは、教育本來の目的を貫徹する事難くどうしても個性を認め、之を重んじて教育せねば成らぬと云ふ議論が盛んに唱道さるゝに至つた。何故さう云ふ議論が唱へられる樣になつたかと云ふに、夫れは人には各々個性があるからである。然らば人の個性は如何にして成立するものであるか個性成立には先天の原因と後天の原因とがある。一體人間は何から出來るか、申す迄もなく其の大本は細胞である。細胞には豫備期と云ふものがある。即ち父親の體内に子種があるとか、母親の體内に子種があるとか云ふのは、細胞の豫備期と稱するものである。而して其の子種である細胞には先祖傳來の素質が一切包含され、遺傳物質が生殖細胞に依つて恐く傳はる事が判る。故に人一人生れるには非常に多數の先祖が關係を及ぼして居るが(表省略)之は何代目になると幾人の先祖が其の人一人に關係あるかを調べたものである。之に依ると一代目は一人であるが、五代目になると三十人の先祖に關係があり、十代目になると千二十二人、二十代目は百四萬八千五百七十四人、三十代目になると十億七千三百七十四萬一千八百二十二人の先祖に關係がある。此の計算は東京の工科大學の人にやつて貰うたのであるから、間違ひは無いと思ふ。此の表には皇室の百二十二代を標準として計算してあるが、百二十二代目になると、其の數の多き、迚も讀む事さへ不可能で、之をどう讀んでよいか、私には判らない。斯う云ふ事を考へると、先祖を尊崇せねばならぬ事が自ら解つて來る。決して我一人の身體ではないのである。而して我が民族の一大特長たる皇室中心主義の由つて來る所も多言を費さず明白になつて來るのである。日鮮は今一體になつたが、昔から日本人と朝鮮人との血は大分交つて居る事は明かである。朝鮮人が我々の先祖であると云ふ樣な證據がいくらもある。現に出雲邊には朝鮮人が大分移住して居つた、或は今日でも埼玉縣には高麗村と云ふがあつて、ずつと系統が傳はつて居る。言語の上から云うても寺とか鍋とか云ふ言葉は元來が朝鮮語で他に幾らも證據とすべきものがあるのである。人は必ず一度は死ぬものであるが、夫は我々の身體が亡び行くのみであつて、子あり孫あれば、自分は死んでも其の素質は永く遺傳する、即ち系統遺傳が繰返し〳〵行はれるものであるから、子供は生れぬ先から先祖傳來の遺傳物質を有つて居るのである。そこで各祖先來の遺傳素質を享けて居る男女が結婚して夫婦になり、其の間に子供が生れると、父母兩者の遺傳素質を享ける。此の場合若し父親が大酒を飲んだり、花柳病に罹つたりして居ると、生れる子供の何處かに缺陷を生じ、氣狂になつたり、結核に犯されたりする。其の理由は父親がさう云ふ事の爲めに生殖細胞を害されて了ふからである。母親の生殖細胞に缺陷を生じても同樣なる結果を現はし來るのである。

## 朝鮮鑛泉狀況(四)

▲溫井里溫泉(江原) 杆城郡新北面溫井里即ち金剛山の東麓海拔約五十來突のところに位す西北南三面は金剛山の連峰聳立し東方約三里にして高城邑に達し北方約二里にて長箭港あり元山釜山間の汽船は長箭港に寄港す地なり附近は所謂關東八勝の景地にして金剛山海金剛、神溪寺楡岾寺等の名所舊跡に富む宿屋は內地人五戸各相當の設備あり殊に鐵道局の經營に係るホテルは貴賓紳士の宿泊に適す鮮人宿舍十戶あり浴場は有料共同浴場一他に宿屋専用浴場四內三は浴槽に男女の區劃を爲し設備稍完全にして清潔なり尙鮮人無料共同浴場一箇所あり泉質は固形分(礦性分)硫酸、硫酸、硫化鐵及び硫化マグネシウム、クロールカリウム、遊離炭酸、クロールマグネシウム、有機物硝酸及びクロールナトリウム等の混合性分を有し溫冬季は攝氏四十一度夏季四十三度一日の湧出約二百石明治四十四年羅南衛戍病院附二等軍醫尼明濟氏の試驗に依れば慢性胃腸炎、慢性筋肉及び關節僂麻質斯、脚氣、僂麻窒斯、神經衰弱及び腫炎、皮膚病、外傷後の運動機能障碍及び重病の恢復期等に特効あり浴客は該地附近は勿論元山地方又金剛山の探勝を兼ね京城其他より來る者も少からず、今尙の浴客延人員約一萬人なりとす

▲白巖溫泉(江原) 蔚珍郡溫井面の中央即ち同郡及び慶北英陽郡に跨る白巖山の東麓に位し蔚珍憲兵分隊蔚珍出張所を距る西南方約七町其の間土地頗る斜なれど峻險ならず地勢西は白巖山を負ひ其の支脈南北に起伏し東北方は稍開濶にして若干の水田あり麓を流るゝ谷川は下流の小川に合し南大川となり平海面の中部を東方に貫通す、蔚珍郡平海に通ずる道路及び附近各里村の道路は漸次改修を加へ途中多少の河川あるも陸路艱して少く馬、轎にて交通支障なし馬背は一里二十五錢轎は三十錢位るの賃錢にて可なり、浴場の設備は内地人經營に係るもの木造瓦葺にして湯壺二個を有しコンクートを以て築造し可なりの設備あり鮮人經營に係るものは木造藁葺にして同壁板圍こし湯壺は石材を用ひ浴槽を男女に區別す泉性はアルカリ性にして溫度攝氏四十五度一日の湧出約一千石內地宿屋一戶及び鮮人宿屋一戶あり何れも相當の設備あり本泉は黴毒、痳病、軟性下疳、痔疾、子宮疾患、瘰癧其の他濕疹、腰泡疹、疥癬等の皮膚病、胸膜疾患等に特效あり一年間の浴客は約一千五百人當地附近は勿論慶北各地及東海岸通行旅人にも往々來浴者あり


大同生命保險株式會社 第拾六回決算報告
(自大正七年七月一日 至大正八年六月卅日)

一 保險契約高 七千參百七拾貳萬八千四百餘圓
一 諸積立金 壹千參百拾八萬六千八百五拾圓
内 保險契約利益配當準備金 壹百四拾五萬參千參百參拾四圓

◎利益金處分
當期利益金 五拾八萬參千七百拾壹圓貳拾六錢
内
金參萬 圓 法定準備金
金貳拾五萬九千貳百六拾貳圓參錢 保險契約利益配當準備金
金貳拾萬 圓 別段積立金
金壹萬五千參百圓(年八朱) 株主配當金
金四萬 圓 役員賞與金
金壹萬 圓 使用人養老積立金
差引金貳萬九千百四拾九圓拾壹錢 次年度繰越金

◎貸借對照表

| 資產ノ部 | |
|---|---|
| 未拂込株金 | [illegible] |
| 現金 | [illegible] |
| 預金 | [illegible] |
| 貸付金 | [illegible] |
| 有價證券 | [illegible] |
| 不動産及什器 | [illegible] |
| 未收利息 | [illegible] |
| 未收保險料 | [illegible] |
| 代理店貸 | [illegible] |
| 假拂及假勘定 | [illegible] |
| 支店建築費勘定 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

| 負債ノ部 | |
|---|---|
| 株金 | [illegible] |
| 法定準備金 | [illegible] |
| 責任準備金 | [illegible] |
| 保險契約利益配當準備金 | [illegible] |
| 支拂備金 | [illegible] |
| 使用人養老積立金 | [illegible] |
| 社員身元保證金 | [illegible] |
| 一時預金 | [illegible] |
| 利益金 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

◎我社ノ利益配當
前掲保險契約利益配當準備金ハ滿期契約ニ對シテハ保險金額ノ壹割式分式厘以上參割式分被保人死亡ノ契約ニ對シテハ同式割九分參厘以下ノ利益配當ヲ爲ス計算ナリ本社ハ右準備金ノ外大正十一年六月末執行ノ第二次大決算ニ於ケル配當資金ノ一トシテ每年別段積立金ヲ積立テツヽアリ

大阪市西區江戸堀上通一丁目九
大同生命保險株式會社
取締役社長 廣岡惠三
常務取締役 祇園清次郎
取締役 西田由
取締役 星野行則
取締役 松井萬緑
監査役 廣岡久右衛門
監査役 岩田幸七

◎電氣療法教授
三ケ月で卒業自宅獨習出來る男女有望業務多く卒業の上は無試驗開業出來る入學小學卒業程度の者は何時にても入學出來る詳細は返信料添ひ照會あれ
福岡市上須町二五 東亞療院

吸入瓦斯發動機
二十五馬力以下在庫
自動瓦島精米機 清水式精米機
福岡市博多吳服町 丸二商會

特價販賣 山林、果樹、桑苗
兵庫縣川邊郡稻野村東野 攝陽園藝商會

原料貸與 職業
前途最有望なるパナマ帽子及ゴム編業年中無休自宅就職製品引受工賃一回五拾錢迄確實案内書御一報次第呈す
大阪本町信濃橋東詰振替大阪一〇七〇六
代理店募集 東洋物產合資會社

婦人世界

白金御殿笹丸伯爵の嫡嗣靜馬の心は奔馬の如く狂ひ始めたり!
長篇小說 靈鐘 小杉天外
奔馬の巻
鞭枝が懷ろにして來た千鶴姬の密書は多くの疑問と興味[illegible]……か?鞭枝の[illegible]あるまいか、彼れは明に獨語して居る[illegible]

家庭和樂秘訣 高島平三郎
心の叫びは天外氏の[illegible]

自ら離縁して良人を出世させたる貞女 下田歌子
宿屋の娘が夫の學者的天才を認め愛を犧牲にして上京勉學させた話

子供を低能にする病氣あり…… 醫學士 桑名龍太郎

此難病で惱む人多し必ず讀んで苦痛を解け
◉痔瘻療法の新 余の實驗した專門醫家の無痛無血の新法 村井弦齋

音聲を美しくする法 醫學博士 小池重

喉の手術で啞が癒つた經驗 癒つた子供の父…吉田清太郎
□小さき物を愛する心…高信峽水
□粗食で美服する女…木村貞子
□天の節制で建てた別莊 記者

驚くべき我婦人の醜體格 藤村 醫學士

炊事用に寒暖計を用うる利益 醫學士 松岡久藏

□病人に食はす魚の料理法 弦齋夫人
□天プラの美味しい揚げ方…櫻井節彌
□九月の家事整理法…記者
□心配で眠れぬ人の眠る法…小口
□出水の時の避難の注意…記者

情愛小說 家庭教師 和田筍村

大學の公開講義を聽いた婦人の感想 伊澤千世子…三角錫子…田中芳子の諸夫人

印度洋で獨艦に襲撃された常陸丸遭難の顛末 常陸丸女ボーイ 鯨岡かめの子

九月號一冊貳拾錢郵稅壹錢五厘●半年壹圓四拾錢●一年貳圓七拾錢●東京京橋 實業之日本社 振替東京三二六番

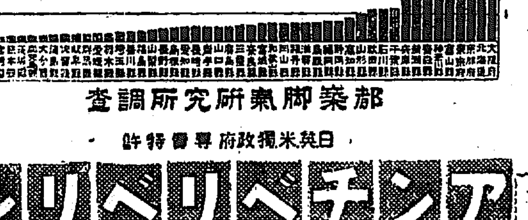
腸內強力殺菌新藥
Pulvis Waka.
ワカ末
醫學得業士 若林哲朗氏創製
徽菌に因る腸疾患 就中急性及慢性腸加答兒、醱酵下痢、大腸菌性腸炎、赤痢、腸チフス及パラチフスの初期、大腸菌性膀胱加答兒、其他大腸菌に因する諸病 に特効あり
大正六年三月十五日發行細菌學雜誌第二百五十八號に於て發表し第十八回北里研究所同窓會に於て報告せり(說明書呈す)
定價 末劑廿五瓦 金一圓廿錢 錠劑五十入 金八十錢

發見後七年有餘の歲月を閱したる我アンチペリペリン療法は年一年と發展に發展を重ね大正六年中の需用獨り注射液のみを以てして遂に三十萬筒を超過するに至れり、其將來に至つては思ふに何人も豫想し能はざる所ならん實際に生靈の救助せらるゝもの愈多きにあらずんば焉ぞ能く此異例を見ることを得んや、江湖の諸賢乞ふ一層の愛顧を吝むことなかれ。

死なぬ爲の アンチペリペリン (注射と內服)

見よ! かつけ病の危險

壹箇年間の脚氣病者三十萬乃至四十萬人




部藥脚氣研究所調査

日英米獨政府專賣特許
アンチペリペリン
末劑 丸劑 注射液 エキス劑 錠劑
說明書呈送す

南信堂藥局 東京市麻布區笄町百七十三 大阪市東區堺筋(三越南隣)

## ◇我軍隊哈市通過

廿日陸軍省公表＝我北滿派遣先頭部隊は八月十七日午後哈爾賓を通過せり歡迎盛大を極め露軍及びチェック代表部隊初め日、支、露各領事團代表者其他多數官民の送迎ありたり（二十日午後一時一分東京發同午後八時着）

## ◇滿洲里出兵討議

十八日國務院會議を開き滿洲里出兵の件を討議し段總理は一個師團乃至三個師團派遣の必要あり黑龍、吉林二省より一個師團奉天第二十七師廟苑第九師より一個師團編成し出兵費として鹽稅準備金を充てんこと述べ鮑督軍は吉、黑兩省奉天等は最早多數出兵不可能なるを述べ遂に會議は決議を見ざりしと（北京特電）

## ◇英軍裏海に出づ
### 困難を冒し遂にバークに到著

英軍バークに落せりとの報は人心を亢起せしめたり此報に據り推測するにバグダットより裏海に向ふ進撃は本年二月開始されたる如し波斯の西北部には既に多數英軍の存在しつゝあるを見る此進撃は土耳古及び過激派軍と同盟せるジャンガリ種族の抵抗を受けたる外他に何等の抵抗を受けざりき是等の種族は容易に制服されたるが英軍は山地地方の險惡なる道路を經て糧食の缺乏其他の困難を犯し遂に裏海に到達せり（國際ロイテル電報）

附記 バークは露領カフカズにありて、裏海沿岸に位する港なり、バグダットは亞細亞土耳古チグリス河中流に沿ふバグダット鐵道の要路交通上軍事上の要地にして今次歐洲戰亂に英軍之を陷れんとて獨、土同盟軍と戰ひし地なり

## ◇定例閣議開催

二十日定例閣議開催米騷動の善後策其他に就き協議せる後元帥條例中改正及び佩刀の正式制定の件外六件を決し十一時散會せり（東京特電）

## ◇外相山公訪問

後藤外相は十八日山縣公を小田原古稀庵に訪問數刻會談の後歸京せり（東京特電）

## ◇朝鮮銀行總會
### 八分の配當案を可決

朝鮮銀行總會は廿日午前十時開會美濃部總裁より營業報告あり年八分の配當案を可決し理事二名の改選は重任後臨時總會に入り倍額增資を附議し新株は九月二日現在株主に舊株一株に對し新株一株割當て殘三萬株は額面以上にて公募し其募集方法は重役に一任する事に決し終りに新任新副總裁の挨拶あり同十一時散會せり（東京特電）

## ◇大阪製粉市場 保合

大阪製粉市場にては相場立たず無見當なりしが神戶市場にて某素人筋が盛んに買占を行へる爲十七日相場六圓見當を保ち合へり（大阪特電）

**東京市會議員團** 東京市會議員及び市吏員より成る視察團一行は廿日午後二時安東縣に來り各處を視察の上午後八時四十分發列車にて撫安に向へり（安東特電）

**森安東縣領事** 森安東縣領事は事務打合せの爲め十九日夜行列車にて奉天に向へり（安東特電）

## ◎朝鮮と簡易生命保險（三）
### 强制的貯金制度の必要

如斯累世の弊習は人類生存上將た又統治上最も必要とする恒產恒心の思想を全く銷磨せしめ彼の一旦疾病に罹り或は不測の殃災に遭遇し又は老齡衰に服するを得ざるに至りては只拱手死を俟つの外施すべき策を知らず爲政上寔に

▲輕々忽諸 に附すべからざる憾むべき狀態に在りたり、於是乎我國に於いて保護政治の第一步に於いて此結果を誘致したる苛政を革め又警察機關の擴充を計り以て鮮民の觀念に努め根本的に彼等の生命財產の安固を保障し更に併合後總督政治に移つては產業の振興を策立すると同時に勤儉貯蓄の美風を涵養するを以て統治上の最大急務とし中央地方相呼應協戮して郵便貯金又は民間貯金機關を利用して大いに貯蓄の獎勵に力を盡したる結果明治四十年度の朝鮮人郵便貯金四千人の三萬圓は四十四年度に於て十萬人の四十六萬圓に增加し更に大正六年度に至りては

▲九十九萬 八千人の二百十七萬六千圓と云ふが如き著しき躍進を示すの好況に達せり而して民間貯蓄機關に於ける鮮人の貯金狀態は其調査したるもの撫きを以て茲に掲げ能はざるは甚だ遺憾とする所なるも要するに前叙貯蓄觀念の衰頽せる鮮人に對して如斯郵便貯金の計數を見るに至る迄には當路の苦心寔に察するに餘りあり蓋し移風易俗の上に於て寔に喜ぶべき現象なりと云ふを得べし乃ち

▲郵便貯金 は當路者多年の苦心により漸次增加の傾を示すは獨かに產業の振興と共に民度の向上しつゝあるを示すものと思料せざるを得ず日韓併合以來朝鮮人の民度の向上は他に幾多の統計に就て具體的に卜知し得るも本項に最も直接關係ある鮮人の極貧及び其他に因る戶稅免除の狀況に就て見るに

| 年次 | 免除戶數 | 總戶數 |
|---|---|---|
| 二年 | 九九、八三五 | 二、八四一、五八九 |
| 三年 | 六三、六七四 | 二、八三六、五六六 |
| 四年 | 四二、一八九 | 二、九七一、四八四 |
| 五年 | 三二、九〇六 | 二、九八一、三〇七 |
| 六年 | 二六、三三三 | 三、〇三六、五三六 |

にして大正二年の千戶に對する五十三戶の戶稅免除は累年遞減せるを見るは前叙の如く民富の程度向上しつゝあるを見るべきなり然れども大正六年に於ては未だ尚全鮮に於て二萬六千の免除戶數を見るの狀況なるが故に尚一層此の方面の努力を要するものと思惟す然り而して前叙鮮人貯金の

▲既往現在 に就て熟々考察するに此等の增加たるや未だ鮮人間に眞個勤儉貯蓄の觀念徹底醒覺したるは僅かに其の一部分にして大部分は畢竟するに當路者の勸誘獎勵の結果他動的貯蓄に屬するは尚遺憾とする所なるを以て眞個勤儉の美風を涵養し貯蓄觀念を徹底せしめ以て恒產恒心を培養するには將來益々貯金を獎勵し又一面に於て產業の興起隆盛を企畫し以て兩々相待して彼等の幸福を增進せざるべからざるも是等は今直ちに好果を收め得ざるを以て目睫の急務としては現在彼等の生活上に於ける缺陷換言せば疾病老後或は不測の殃災等に向つて相當の

▲方策を講 ぜざるべからず今試みに大正五年中朝鮮に於ける行旅死亡者の狀況を見るに二千二十六人の多數を示し之を現住人口千六百萬に比例するときは百萬人に就て百二十四人の割合なり（某當局者談）

## ◎上半京城貿易

朝鮮銀行調査に係る八月上半月に於る京城商況及金融左の如し

▲米 仁川定期取引市場は內地取引所の取引休止頻々たりしに拘らず九日迄立會を繼續し其の後市場の形勢不穩なりし爲め立會を停止せり相場は月初中物二十六圓二十錢なりしも正米高に促され九日に至り二十六圓九十五錢と昂騰せり期米の波瀾甚だしきに反し正米市場は先高見込により地方筋の賣惜み賣品の買占め西伯利出兵等の影響によりて玄米月初二十七圓臺なりしもの十四日に至り三十三圓となり精米月初三十三圓五十錢なりしもの三十五圓三十六圓に累進し十日には遂に四十圓臺を突破し十一日には四十三圓を唱ふるに至れりされど內地の米騷動政府の臨時支出金等ありたる爲さしも頑强なりし正米市場も其の影響を受け急轉直下三十八圓と暴落せり斯くの如き高値なりしに拘らず需要方面にては尚先高を豫想し買占を行ふもの多く當地在庫品は十五日に於て玄精米兩者共三萬四千叺に減少したり

▲綿絲布 米棉不作印度棉の昂騰輸出向好良との諸材料に刺戟され大阪三品市場相場は昂騰し尚底意堅く當地も之が影響を受けて騰貴一方にて三A印粗布月初め三百廿圓なりしもの十五日に於て三百五十圓と擡上り愈々堅氣模樣なり當地取引模樣を見るに前月以來餘り高値なりし爲仕入れを控ふる向多く荷動き餘りに多大ならざりしも追々需要期に近付きたると必要口の商內にて前月に比し幾分の荷動きを見たり

▲大豆 七八日頃は相場保ち合なりしも各地米高に煽られたると今迄の割合安とにより反動として八日以後三圓方の騰貴を爲し一時呼値十八圓臺に進みたりしも米價下落の影響を受け二圓方引戾せり在荷約一萬四五千石存するも內地よりの買註文捗々しからざると依然たる船腹貨車不足にて荷動きの大なるものを見るに至らざりき

▲粟 粟は米價高落產地銀高品薄等の諸原因により月初め十二圓臺なりしも十七圓臺迄に躍進したり賣行は月初め迄良好ならざりしも米高に依り其後相當の賣行を見たり

▲金融 前記の如く商況依然不味なりしを以て米穀買出資金の需要の幾分を見たる外さしたる資金の喚起を見ず至極閑散裡に經過せり

## ◎兩社船賃値上

大阪商船並に互光商會の兩汽船會社にては二十一日より內地朝鮮間の船客運賃二割の引上げを實施す

## ◎鮮銀理事候補

二十日東京銀行集會所に於る朝鮮の株主總會にて三島木村兩理事十月末任期滿了に付倍數の候補を選擧する事となれるが混雜を避くる爲總裁に一任する事となるべく結局總裁は三島太郎木村雄次伊藤忠兵衛賀田金三郎の四氏を選任し兩理事の任期滿了前總督府に手續きを行ふ事となるべきが三島木村兩氏の重任は動かし難き所ならん

## ◎仁川新米廻著

十九日仁川市場に黃海道安井商店より新出來米一石到着せるが品質頗る良好にて廿日四十圓の高値にて賣買されたり因に昨年に比し三日早しと（仁川電話）

## ◎軍司令官巡視

宇都宮軍司令官は二十日野津副官を隨へ衞戍病院陸軍倉庫及び朝鮮步兵隊を巡視せり

## ◎京城局通信成績

京城郵便局通信事業本年四月より七月まで四箇月間の收入狀況を聞くに之れが成績は昨年同期間に比し左の如く合計に於て四萬七千三百圓の增加を示したるが之に依りて本年度全期間に於ける收入額を豫想すれば昨年度の九十三萬圓に對し百二十萬圓に上る可く即ち三十七萬圓の增加を見る可し

| 品目 | 自四月至七月 | 昨年同期 |
|---|---|---|
| 切手收入 | 一六三、七〇〇 | 一五五、四〇〇 |
| 葉書收入 | 一四、八〇〇 | 一三、九〇〇 |
| 約束郵便收入 | 七、九〇〇 | 五、四〇〇 |
| 電信現金收入 | 三、〇〇〇 | 一七、八〇〇 |
| 電話現金收入 | 一四五、〇〇〇 | 一三、七〇〇 |
| 雜收 | 一、〇〇〇 | 六〇〇 |
| 合計 | 三五三、一〇〇 | 三三六、八〇〇 |

## ◎釜山第二棧橋規程

京城管理局にては釜山驛第二棧橋に於て積込又は取卸を請求するもの有る時は左記に依り取扱ふ事となりたるが其要項左の如し

▲取扱貨物の種類 車扱及一車積噸扱大貨物

▲發著驛 (甲)釜山第二棧橋に荷揚げしたるものにして釜山驛より朝鮮線又は滿洲線に託送すべき貨物を第二棧橋に於て貨車に積込み同所より發送する時(乙)朝鮮線又は滿洲線發釜山驛着貨物にして第二棧橋に於て船積するものを積車の儘第二棧橋迄運送し同所に取卸すとき

▲貨物の積卸 第二棧橋に於て貨車積卸を要する重量百斤以上若くは其容積二十才以上其他長大なる貨物にありては貨主の負擔とし其他の貨物に在りては鐵道の負擔とす

▲棧橋迄の運送狀には特約條件の欄に第二棧橋積又は卸と記入せしめ通知書及び引換書には相當欄に第二棧橋積又は卸と明記し料金は運賃發著手數料と區別して之を記入す可し

## ◎平南市場狀況

平南各府郡に於ける市場現在數は百十四にして一箇年の賣買高六百十八萬七千三百七圓の多額に上れるが之を各貨物別とせば農產物は二百六十七萬一千六百五十七圓にて最上位にあり次は畜產の百七十萬四千三百十三圓にて水產物四十九萬九千六百八十五圓、織物七十四萬四千五百五十二圓其他五十六萬七千九十四圓を算せり而して各產物を通じて一箇年の賣買高は逐年增加の傾向を示せるは正額の漸增と購買力の增進に基づくものにして市場數の最も多きは大同郡なりと

## ◎大阪より

▲製粉相場渾沌 米價の低落につれ原料小麥の低落と共に製粉相場は一時六圓拔けの高値に進展するものありしも其後漸落の步調となり五圓臺を割らんとする不況を示し居れるが各地製粉市場の閉鎖狀態により市令にては取引行はれず渾沌たる成行を呈し前途の見込付難き狀態なるが市場開始の上は在荷の何分整當なる際なれば一低落は迚も免るゝこと能はざるべしと觀測し居れるもの多きが如し

▲板硝子漸騰 板硝子は目先需要期を迎へたると頃日來原料硝石益々昂騰を示せるとに相俟つて旭製品菱印一等品は又二圓方値上し二十三圓を唱ふるに至れり而して外品の輸入は依然杜絕せるに對し近時南洋、印度、支那等の販路益々拓け內地製品の此方面に輸出する景況も熾しく各製造業者は其製產能力何れも手一杯の現狀なりと

▲人肥値上實行難 滿洲殷鑑西人肥組合會を當地に開き普通燐礦十貫目入り一叺に付き二圓二十錢と販賣協定價格を制定するに至り大日本人造支店の如きは賣止めを爲し居れるが一方米價多少低落し居れる爲め該協定の實行難をより多く助長せしむるものあるを一方來る十九日入札のアンガウル燐礦石は依然として高値にあらざれば入手すること能はざるが如き形勢にあるを以て人肥當業者は何れも豫定に乘り居るものと云ふべし

▲大豆暴落 渾沌たる商狀を呈して崩落を豫想され居たる豆粕は米價の低落に惹かされて果然相場暴落し神戶沖インボイス九月限は十三日相場より二十五錢安の五圓二十八錢を告げ一方大連も亦八月限一圓十八錢九月限一圓二十錢低落し何れも二三十錢方安を現はしたるが氣配は下押しなれども大連爲相場は百五十七圓と昂騰しつゝあれど目先此上の瓦落は尚期待し難からん

▲椰子油輸出盛況 戰前世界の最大製造國と目され居たる獨逸は原料の供給に窮したる結果製造能率著しく減せるが之に反して米國は今や同油の製造熱勃興し多量の椰子油を製造して遂に最大製造國たらん勢ひあるも國內の需用の日に激增の爲め未だ自然充分の運びに至らず目下戰國に對し盛んに輸出付け居れる有樣にて之が爲め本邦椰子油は同國への輸出愈々有望となれるより最近同油製造工場に於て製造能率を增加せしめんと企畫するもの尠からざるが政府當局も昨今頻に南洋方面の原料輸入高に就て調査しつゝありと（大阪支局）

## ◎朝鮮在米調査（七）
### 及び新米出廻迄の過不足見込量
日本社に對する各府郡の回答

▲熙川郡（平北） 在米六百石新米出廻り期迄不足なし
▲開城郡（京畿） 在米約二萬石新米出廻り期迄過不足なし
▲楊平郡（京畿） 在米二百石新米出廻り期迄不足六百石
▲襄陽郡（江原） 在米利千三百石新米出廻り期迄過不足なし
▲麗水郡（全南） 在米七百八十九石新米出廻り期迄不足六百五十一石なるも麥其他の雜穀あり
▲寧越郡（江原） 在米二百石新米出廻り期迄不足二百五十石なるも農民の常食は雜穀あるが故に米の必要他郡程になし
▲德源郡（咸南） 在米五百石新米出廻り期迄不足二百石
▲光州郡（全南） 在米六千七百石新米出廻り期迄不足なし
▲谷山郡（黃海） 在米五百三十石新米出廻り期迄不足なし
▲順川郡（平南） 在米なし新米出廻り期迄不足二百石
▲迎日郡（慶北） 在米二千二百石新米出廻り期迄不足なし

## 人事消息

▲大喜多和一氏（滿鮮評論社長） 寺洞視察の爲二十一日夜南大門發にて出發の由
▲權三男氏（安東縣木村合社重役） 二十日夜入京天眞樓へ
▲山田英四郎氏（大阪寶ゝ家） 同上英國旅館へ
▲井上博吉氏（滿日記者） 同上萬尾
▲戶田正三氏（東京帝大醫科教授） 二十日夜入京

## 鳥瞰雜爼

▲米國の戰爭に對する鼻息の荒さつたらない而して又た其れがドシドシ實行せられんとするのだから堪らぬ▲獨逸には飛行機百萬で獨逸を空中攻擊で一蹴に附せようと云つたが今度は兵役年齡の擴張をやつて來年の六月迄には三百萬の兵を戰場に送ると云つて居る▲米軍の向ふ處獨軍顏色なしとマーチ參謀總長も豪語して居る▲斯う云ふさう者なら敵味方の容赦もなく米國は戰爭を吹つ掛るかも知れない際だからウカと講和なんか云ひ出せない▲萬事何から何迄も援助して貰つて居る英佛なぞは當りまあ米國の云ひ成次第に戰爭して居ねばなるまい▲兎に角米國のやり方は大きいが徹底的だから痛快だ▲或邦人が浦鹽の近くの小都會に行くと其處に風俗室々たるも何處となく困惑して居る新聞の一枚賣をやつて居る男を見かけた▲不圖顏を見ると擾て相識の露國陸軍大佐であつたから大に驚いて事情を聞くと▲大佐は革命後住むに家なく衣食の途絕ねて已むなく流れ〳〵て西伯利の果て迄も此の姿を現はしたとの話し▲其は氣の毒と某氏は早速大佐を浦鹽の日本人商店の書記に周旋した相な▲此の樣な話はまだ幾等でもあると同地からの通信に見ゆて居た▲淺野總一郎君が先達て成金連四五人と東京は築地精養軒で集會して居た▲すると時も時俄に門前が騷がしくなり小石なぞが時々硝子窓に飛んで來る▲一同此の有樣に忽ち縮み上つて早速退散と決した▲が浮き飛び出せば醉い目に合はさるゝかも知れぬので一同顏色を變へて退却方法に必死の智慧を絞つた▲何事に掛けても機敏第一の淺野君は急にボーイを呼んで古浴衣を借用して三尺帶をぐる〳〵卷いて古帽子を冠り▲まだ御念を入れて極々粗末な人力車を雇ふて乘出した姿は何う見ても今を時めく當代の成金淺野君とは見えず▲何十年以前の石炭屋時代の淺野の旦那其儘であつたとは成金も却々樂ではないと見ゆるワイ

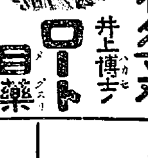
## ◎下級船員欠乏

本邦海運界の未曾有なる發展は最近小樽の夫れ[illegible]は實に其消息を語るものにして本均三名の補充員に對し僅かに[illegible]に至りたるも尚ほ且補充難に苦しむ者あるに至り[illegible]場に原備せられて▲物價昂騰も勞銀昂上の爲め[illegible]て終に同盟罷業の如き厭ふべき[illegible]風を誘起するに至りたるは寔に[illegible]他の業務に當りて辛うじて航海をなさざる重大問題なれば今や海員媒介[illegible]去る八日森領事の手許迄許可[illegible]資本金十萬圓は各組合員の分擔出[illegible]

## 課題及募集規定

□募集規定 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事[illegible]


**職業** 頗る美術にして地方必適 不問年中無休 利益老幼男女共就業容易普通有ふれた職業に非ず熟練日數多大詳細郵券拾錢を要す（特約店募集） 東京市本所 郵便本局前 形梅商店

**目ニ見ヘテズン〳〵トキク シマズイタマヌ** 井上博士 **ロート目藥**

眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲め悪いから ロート目藥は消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添へてある

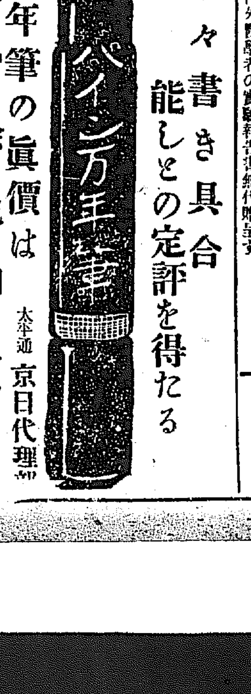
全國各藥店にあり 定價 大瓶五拾錢 中瓶廿五錢 小瓶拾錢 本舖 東京・大阪 山田安民藥房

**京日案內**
▲▲▲申込中途掲載中止の節は料金不返戾 六回以上の御申込は特に割引のこと 御照會は返信附にあらざれば回答せず

普通
◎龍山電話入用 龍山元町二丁目本願寺下 森下靑物店
◎店員一名入用 京城府旭町 本人來店あれ 川西食料店

特別
◎代診藥局生各式名入用 希望者は至急支局宛申込る可し 姓名京城日報仁川支局
店員二名入用 希望者履歷書携帶來談あれ 身元確實なる保證人要二名 市內吉野町一ノ二八 友田運送店
時計職金銀工師入用 希望の方は履歷書送付あれ 滿洲長春 阿曾時計店
◎小供入用 十三歲より十七迄 希望の向は履歷書送付あれ 滿洲長春 阿曾時計店
事務員募集 希望者は自筆の履歷書携帶至急來談あれ 京城南大門內 救世藥館
◎外務員採用 履歷書持參來談 京城永樂町二丁目 八千代生命京城支社
借家交換 南大門三日米商七間奧五間小賣商事務所向き二間半四間位希望大通筋門口四間位食庫又室附賃百圓位右交換す借入丈も可
石版印刷職工至急二名入用 履歷書送れ 元山幸町 小林石版部
女子原簿係 採用す身體健全中學教育ある者自筆履歷書至急送附又は來談せらるべし 平壤府南門町 丁子屋洋服店
職工數名募集 但し特種の優待法有本人至急乞來談 平壤府南門町 丁子屋洋服店
金銀細工職人募集 希望の方は御來談あれ 京城黃金町二 電話一〇五番 喜多金光堂
恩給年金 年賦低利長期間即時立替 保險不要 京城永樂町一 商品陳列館前下角 江州屋本店

**胃腸新藥**
藥效 工場
高峰博士發見 の本品は本邦人に最も多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。
**タカヂアスターゼ**
本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしが前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に効力減却するを普通とす。我タカヂアスターゼは効力永久不變なり。
內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す
東京室町 三共株式會社

**"PINE"**


愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず
太平通 京日代理部
特許既願防破裝置附
繰出式萬年筆 金六圓八十錢
インキ止式短軸 金四圓九十錢
インキ止式實用向 金三圓八十錢
パイン學生號 金二圓八十錢
ビジネスペン（事務用） 金一圓九十五錢
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

**模造品續出す御注意**
**オキシパサー**
本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用して使用後直に結果[illegible]
効力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず使用簡便にして何等の危險なく婦人子供も容易に使用することを得[illegible]
定價金參拾九圓
發賣元 東京丸の內大日本オキシパサー商會
滿鮮總代理店 京城本町 酒木高明商店
特約販賣 京城日報代理部

**急告!! 冬物見本發行に就て**
斬新なる冬物見本は近々第一回を發行可致候につき御入用の向は發行部數に制限あり至急御申越を乞ふ
羅紗商 株式會社 武神商店福岡支店 福岡市博多中間町 電話長一九七〇番 振替福岡四六〇〇 電信略號（エ）又は（〇）
株式會社 武神商店小倉出張所 小倉市鳥町三丁目
御注意 但し見本御申越の方は洋服業者に限る

…つて各地主帆に於ける汽船海員の…爭等は愈々熾烈を極め休職海員には豫め給料を支給して豫備員の招致に苦心するのみならず果て際の▲二等十回航…名を初給十五圓の高給に尋常小學校を卒業せる間…て雇傭したるに過ぎざりしが如き…の如きは陸上汽機汽罐設備の諸工…工場の發展も亦與つて力ありこ云ふべく就中機關部員油差火夫等…増にあるは勿論なるも更に陸上各…は比較的優遇する遠洋航路に比す…れば近海航路船に於て愈々甚だしく爲に船主側に於ては極力之が慰撫懷柔に腐心する當然の結果こし…▲帆前同樣の…に赴ける…際其内火夫九名石炭夫三名は終に遲刻出帆せす爲に士官等が殘餘の機關部員を督勵して自ら焚炭其…下船せしむるが如き事實あり所く…の如き事實屡々突發するに於ては…啻に海運界の進展を阻害するのみならず風紀上輕々に看過すべからず

◎安東鎭鈔公所 …業家間に於ける多年の懸案たりし鎭鈔取引新規計畫は前月來著々進捗し此程章程案全部を脫稿し…取引市場に於て鎭平銀及鈔票の先物及び現物賣買取引（建值金建）を確實に爲さしむるを以て目的こし…に創期に到り繼續する事ある…

# ◎何故高い此頃の魚
## 米に次ぐ食料問題
### 供給不足の上内地の相場がドシ〳〵品を呼ぶ

米價の狂騰は遂に全市民をして深く食糧問題について考へさせた、そして主食物に對する問題の解決は必然の結果として副食物の問題となり安價生活の研究となつたが是について今日何人も先づ第一に苦痛を感ずるのは魚價の問題であらう魚肉は實に日本人の主要なる副食物である『袷質に置いて初鰹』を食ふ男共であり、『魚を食はねば髮が拔ける』といふ女共である――こゝに於て『米が高くて魚が食られない』ことを苦痛とする者を生じ『魚だけでも廉ければ……』と愚痴る者が存在する理由である事實また魚價なるものは米價に亞いで現下の問題となりつゝあるのである。是に就て明治町の魚市場を訪へば

『まだ米價騰貴の影響は見られない樣です』と冒頭して支配人は語る。『昨今魚類が變體相場を現してゐるのは恰度春漁と秋漁との

◆……端境期で 且つ舊盆に相當して居るので唯さへ供給不足を感じて居る所へ日が出れば海が光り海が曇れば、危險を冒さねばならぬこいふ季節柄ではあり其上遠距離の魚は殆ど這入つて來ないといふ頗る複雜した關係で供給が益々不足するからです然も夏場にあつては前述の理由で勢ひ近距離に魚族を求めなくてはならず、さすれば從つて魚族を制限され、交魚の『もち』『不もち』の衞生的關係から價格に甚だしい

◆……差異を持つて來るので、この際特に一定した價格こ云ふ樣なものが立て惡いのです。近海の魚は先づ元山の鯖や目白、夏のものこされて居る仁川の鰹、それから鯛、沖すゞきこ云はれる鰕それに雜魚では鱧、目張、貝では鮑等ではあるが、朝鮮では最も好漁期の春漁は釜山を中心こした南鮮に始まり順次北進して夏場は元山仁川沿岸に進み秋冬の間、魚の味の出る所謂秋漁を再び南鮮に下るので、昨年からは

◆……全く釜山 又は對岸内地に相場が立ち京城の相場は事實上駄目こなつたものです。――こいふのは内地の高相場が沖から直品を呼んで仕舞ふからで――。昔てトロール船の活動で内地は下層民に至るまで鯛の味を占たが大正二三年に於て歐洲戰亂の影響からトロール船が拂はれて殆減したので内地では忽ち魚類の拂底を感じて來た其處で多少の高相場は内地に於て問題を成さないこれが延いて今日の變體相場になつて仕舞つたのです、沖買は初め春漁の南鮮に限られて居たのが今では漁船に從つて仁川沖に迄やつて來て京城市民唯一の

◆……食膳の珍 たるわが近海の魚族をも移送してゐるのです。何故魚が高いか?それを考へるべくば、先づ此沖買も問題でなければなりません。魚價が高いこいふ一面には海の經濟が接近に於て世界的となり、魚貝類海草類の加工品が重要な貿易品としてドシ〳〵國外に輸出されるやうになつたと云ふ關係もありますそこで吾々は成るべく取扱ひ個數を多くしたい、然うしたら從つて正しい相場が立つだらうと思ふのだけれど、それは

◆……事情が許 さない、事實斯う品不足、供給不足では魚相場が高いとか、廉いとかは云はれませんが吾々はそこの根本を問題として頂きたいと思ひます』

◆水道端 頤に堰きもて飮みし淸水かな 案山子

# ◎赤痢の時季が來た
## 既に兩三名の患者も出た
### 斯うして之を防遏し度い

さしも猖獗を極めた京城の腸チフス、パラチブスも昨今に至つて全く終熄したがこれからは更に赤痢の流行季節で早くも二三の患者を出したのであるからこの際一般に

◆細心警戒を 要する譯である。それについて某警察官はその豫防及び防疫について語る『これは私の私見であるが防疫についてまづ大體三期に分け、個人こしてその時機に適する注意をして貰ひ、公衆衞生の上から私が警戒する樣にと考へたもので、第一期は即ち赤痢發生の時季に入れる即ち七月末頃からの防疫方法で、まづ個人としては蠅蟲の驅除、それから便壺内を暗くする設備、壺内全部を覆ふ程度に木灰を投入する等

◆黴菌の發生 を防止する手段、それに塵芥置場の消毒等で尚當局取締の方面よりは蔬菜類洗滌場所の取締、飲食物の店頭檢査取締等で、この時季から特に過飲過食や夜間の寢冷を警戒して胃腸を損じない樣にするのは各個人に關する最も大切な要項であるが、今日は既にこの時季に這入つたのであつて、前述の要項を一層勵行するのは勿論個々人としては不幸

◆病魔に冒さ れた際は德義上一日も早く其旨を屆けて貰ひたい、當局こしても亦傳染病的戸口調査をなして早期發見に努める、その他水流、水源の洗滌や葬儀會同の飲食を禁止して警備するのである。第三期は赤痢猖獗流行の頃合こし此期間には愈々益々第一二期の諸項を勵行し更に赤痢豫防液の接種をなし、便所手洗鉢には三千倍の

◆昇汞水を用 ひ當局こしては河水及び溝渠水の使用制限をなし更に不良井戸を封鎖して水道上水の無料配布をさへしなければならないこ思ふのである』

# 外米の炊き方研究
## ▽紫蘇を入れて
### 香りを高く炊くこ好い 澱粉は普通の米より多い

お米が高くなりました爲に外國米が澤山輸入されましたが、此外國米は少し臭味がありますのでごうにかして

▽此臭味を 排つて美味しく戴ける樣な炊き方は無いかこ熱心に御研究なさつてゐらつしやいますので、多分よい方法が考へ出された事こ思ひます。私共の方でも彼是こ種々研究いたして居りますが、まだ研究のいたし方が行き屆きませんのでごうも思ふ樣にまゐりません。それでごうすれば美味しく炊けるこお話申し上ぐる事が出來ないのでございますが

▽今迄研究 いたしました中では、ごうしても普通の米か糯米かこ混合して炊いたのが一番よろしい樣に思ひます、臭味はこれず多少ザクつきますが外國米だけで炊いたのから見ますこ遙に美味しく戴けます、御贅澤なさる御方には少し不向かこ思ひますが饑を凌ぐのには充分で御座います、そして澱粉も普通の米より或は多いかこ思ひます、臭味さへなければこ思ひましてお米を洗いで

▽一夜水に 浸して置いて見たり、種々試して見ましたが矢張り思ふ樣にまゐりません、けれ共紫蘇の干したものか何か薫の高いものを入れて戴きますこ少しは臭味を消して比較的美味しく戴けるかこも思ひます、兎に角まだ〳〵研究最中で御座いますので今の所では是れ位より外に申し上げる事は御座いません（某家政婦談）

▽磨ぎ方に注意 糠の儘水に浸して靜かに磨ぐ事

外國米を炊くには磨ぎ樣に注意せねばなるまいこ思ひます、ごうして洗ぐかこいへば先づ糠の儘水に浸してよく膨すのであります、そうして柔かくなつた處で碎かない樣に靜かに洗ぎます、そして普通の日本米を炊く樣にして炊けば可成り美味い御飯が出來ますこ某夫人の話

# ◎安賣米
## 今日から一錢 値段引下げ
### 外國米は從前の通り

京城救濟會にては二十日午後一時より評議員會を開きたる結果販賣第四日たる二十一日より外米を除く白米の廉賣價格を左の如く引下ぐることに決定せり

石拔米 一升に付廿八錢
石拔米 一升に付廿四錢

# ◎文展審査員を狙うて
## 畫家の暗鬪

今年に於ける文展の審査員は既に内定し京都からは故菊池芳文氏の補缺こして其嗣子契月氏を擧げ之こ共に東京側では豫て辭意を洩らして居た高島北海氏を退隱させることこなつたが其高島氏の退隱に就ては當局者は其後任者を選定すべき意向であつたこころ其後釜を覘ふものが幾人もあつて互に暗鬪を極むるので遂に缺員の儘今年だけは棄て置くこいふ事になつたのだこいふ其運動者の一人は

▲松林桂月 氏で氏は美術協會出身の南畫家こして小室翠雲氏こ從來同等の位地にあつたのに小室氏は數年前に審査委員に任ぜられたので機會あらば文展に入らんこ圖り今年は其出身地たる長州の先鞭を逐つて運動を試みて居たのである、次は

▲結城素明 氏で氏は美術學校の天一坊こ云はるゝ人だけに早くから運動を始め學校出身者を煽動して其目的を達せんこして居たが松林氏が起つたので茲に衝突

# ◎米の代用に鯡
## 研究の結果或は豫想外のものを

米は日本中で年々何百萬石宛かの不足を告げて行きつゝある、此不足は外國米、蒙古米、朝鮮米で補つて行かねばならぬ、此際何か米の代用物に就て研究したら或ひは意外な物が出來上らないとも限らぬ、予が考ふる處は、毎年取りて取り盡せぬ無盡藏の鯡である此の鯡の強い脂肪を拔いて上手に乾せば鰹節のやうな物が出來る、それを何とか工夫して米の代用食物としたならば、充分の滋養を含んでゐる爲めに身體の爲にも非常によくはないかと思ふ、試に乾した鯡を燒いて食して見れば僅少にして忽ち滿腹を覺ゆる、是は脂肪の非常に多い故である、そこで此脂肪を拔いて工夫したらば、或は豫想外の物が出來はしまいかと思ふとは原水點山氏の談（東京支局）

# ◎警察の奸商狩り
## 米の計量を一々檢査し
### 外勤巡査が店員の後から尾行して

三合の桝減りがあれば店主を戒告

米價狂騰に伴なふ奸商に就ては府内各署に於て極力其取締に努力しつゝあり殊に不正手段による桝減りを嚴重に取締る事とし外勤巡査の全部に命じ米屋の店員が顧客へ米の配達をなす途中より尾行せしめ、一方警官は直に其家にて現品の計量を檢査するこ云ふ方法を執り三四合以上の桝減りは不正手段に因るものこして時を移さず店主を召喚說諭し、尚不足額を返還せしめたるより目今漸く此種奸商の跡を絶ちたるが尚混合米其他についても秘密裏に各種の方法にて探査取締を嚴重になしつゝ有る由なれば、此の際不心得の事なき樣其々も注意すべし

□救濟會寄附

金百圓 辻本嘉三郎
金百圓 進 辰馬
金百圓 浦尾 キケ
金十圓 野村 助治
金一千圓 大橋新太郎
金一千圓 宋 秉畯
金一千圓 閔 泳徽
金二百圓 福田又京城支店
金百五十圓 古城 管堂
金百圓 洪 忠鉉
金三十圓 韓 龍雲
金十圓 釋王寺布敎堂
金百圓 石橋久太郎
金五十圓 物産仲立町蕎組合（本社經由）
金百圓 李 相玉（本社經由）
金二百圓 三好和三郎（本社經由）
金五十圓 藤間信太郎（本社經由）
金十五圓 市來 伊造（本社經由）
小計金四千三百十五圓
累計金一萬九千三百三十五圓也

# ◎益々事業を擴大せんこする
## 仁川救濟會

仁川救濟會の事業趣旨が徹底すると共に購買者の範圍も日一日こ擴充せられ一日の販賣總石數毎日五十石を超過するの勢ひにあるが之に對する醵金額二十日現在を以てすれば内地人四十二名二萬一千二十圓朝鮮人五十三名一千三十圓合計二萬二千五十圓に達せり然るに救濟會よりは曩に會の趣旨書を各方面に配附し一般の義俠に訴へて目的の貫徹を期せんこ計りしに尚ほ多くの有志中には醵金の申出を躊躇せらるゝ向あり然れども販賣石數を増加し救助範圍の擴大せらるゝだけ篤志家の醵金に待つ處多きを加ふる譯なるを以て此際慈善家の應分の醵金を希望しつゝあり

▽販賣高こ寄附金

十九日の販賣數量は鮮米二十五石九斗四升外米二十九石麥三斗一升粟七石三升に達し廿日正午迄の醵金總額は二萬二千五十圓前報後の寄附者氏名は左の如し

▲二百圓 齋藤榮之助 ▲一百圓 … ▲一百圓 鄭錫佑 ▲五十圓 … ▲五十圓 … [illegible]

# ◎救はんこして溺死

京畿道揚州郡九里面仁倉里東拓第四回移民丹羽松太郎は同村内矢張り東拓第四回移民なる村上丈之助が十五日夜來の豪雨の爲附近なる漢江支流の溢水にて家屋浸水軒に達したるを以て長男こ共に屋根に上りて救ひを求めたるより他の者三人こ共に六十間許りの處を泳ぎて丈之助の家に到らんこせしに水流の抵抗甚だしかりし爲め遂に身體疲勞して溺死せり尚三人の者は中途より引返したる爲無事にて救ひを求めし丈之助親子も無事なるが東拓にては全く他人を救助せんが爲に犧牲になりしに同情し弔慰金を家族に贈るべしと

# ◎釜山小賣値段

釜山正米市場は内地より買註文入り込み正米一俵高三十五圓こなり白米小賣値段は一升一錢五厘高の四十錢こなれり（釜山特電）


公告
一、木炭 壹萬參百五十貫
一、薪 壹萬八千七百五十貫
右來八月廿六日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

醫學博士常士先生發見
腦病良藥 レーベン
藥價 三円 一円六十五錢 五十錢
東京銀座弓町二十二 弘濟藥院
腦病の療法無代進呈

職業
原紙賃與近男女自宅で誰にも出來るキレイな手仕事年中無休日夜熟練一個半確實詳細見本付說明郵券六錢要す
東京淺草菊屋橋前 朝日商會總本店

サッポロ 壽賓 洋食
自有別天地
京城黃金町停留場北 奥田食堂

面白い
第八 快傑 百萬弗の秘密
炙の平内
悲劇 中西原 味池心中
黃金館は毎夜大入です

最新刊
新らしき村の生活 武者小路
米國大學と日本學生 加藤
杉晋作 碧瑠
機世 栗夫津
東海膝栗毛 鞍馬の巻
▲大正七年遞信地圖
中學新書
京城本町 大阪屋號

りん病
淋病消渇で困る方切手三錢迄多年の慢性も自宅で秘密に治る妙藥を無代で致ゆ
名古屋南かじや町 武藤亀吉

御召工合良き靴
東京芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄問屋

百毒下し
日本は世界第一の……花柳病國！
我愛國的國民は……下毒便通の良劑……百毒下しを服用して其病毒を體内より驅逐する責任がある
各地有名藥店にあり
ばい毒そう毒しつけ一切の良藥
伊勢四日市 本舖 加藤松榮堂

◎追而杉足場丸太多數持合品有之候
朝鮮松丸太材（漢江流下新材）
長貳間以上五間迄 末口一尺以上二尺五寸迄 數萬尺締
鴨綠江材奔騰、品薄、輸送不如意の折柄需要者各位の御便利こ平素の御引立に酬ゆる爲め前記漢江新流下材（鮮人側）殆んど全部を買入候に付ては極薄利を以て如何なる多數の御注文にても直ちに貴需に應ずべく多少に不拘御下命の程奉願上候
京城岡崎町 ㊇須川材木店 電話龍山四三四番 振替京城二〇九〇番
安東縣一番通り ㊇須川材木店出張所 電話四〇五番

クセニナラズ 健通丸 よくつうじる
十日の便秘も一服で通じる其快さ！
本舖 大阪 合資會社 參天堂

◎當工塲は毎日午前六時より午後七時まで溶解を繼續し居るを以て如何に迅速を要するものと雖即時鑄工に取掛り製造御渡し可申候
每陸諸器械土木建築 鑄物一式並ニ洗鐵 格別廉價販賣
京城龍山京町十一番地 中桐鑄工所 電話長五二四番
◎當工塲は一日平均三噸の溶解を爲すを以て多數御注文と雖短期間に製造御渡し可申候
◎當工塲製造品は常に賞賛を得來り候に付御實檢の上御唱導希上候

# 妻の心（七十二）

十一の四　小林蹴月作　武内桂舟畫

『駒さん、普通の人間として、そんな事を爲ちや濟くねえと云ふのか。それがお前、當節柄だと僕は思つてるんだがね。』

『支迎にお爲でないよ。そんな當節柄が何處にあるもんですか。第一、阿兄さん自身にだつて、良心の咎めは恐ろしいと云つてる口の下から自分の子を他樣に押し付けるなんて……妾は、たりや反對だわよ。』

『お前が反對なら、お前の好いやうに取り計らつて貰ふより仕方がないね。だがね、駒さん、本統にその子がおぎやアと生れて見ねえ内は、何方が何方の子だか分りや爲ねえんだからね、今ッから騷ぐにも當らねえ話と云ふもんさ。』

然うだらう、阿母さん。』

欣一は、妹の不賛成らしい口吻を察して、暗に母親の味方を求めようと爲る。母は、苦りきつた顔を顰めて、

『今も駒さんが云ふ通り、過ぎ去つた事は仕方ないとして、そんな險呑な所へ寄付かぬやう氣を付けるのが專一だね。善くない事には相違ないけれども、縱んば、その子が眞實お前の胤に爲た所で、表向き名乘つて出ると云ふ譯にもゆかないしするからね。然う云ふ女に引つ掛つた町川さんの災難と云ふもんだらう。』

『そりや然うに違ひはねえがね、阿母さん、此處だけの話だけれども、お芳と僕との間には、ごわらい內約があるのさ。』

『阿兄さん、內約とは何？』と、若龍は、どうせ碌な事の計畫ではあるまいと思ひつゝ、横から問ねた。

『その內約の條件は、親兄妹でも打明ける事は出來ねえ。』

『ほ、ほ、ほ、此處まで云つて了つたからには、阿兄さん、思ひ切つて打明けた方が優しだわ。他言はするなとお云ひなら、決して他言は爲ないから……。』

『折角だが、お斷りだね。』と、欣一は、故意に天井を睨いて見せたが、

『それこそもだね、駒さん、お前が僕の爲めに骨を折つて、町川さんを旨く擘へ丸め込んだ上に、千と二千の金を纏めて捲り取つて呉れる事が出來たら、お芳と僕とは綺麗に手を切つても好いんだがね。』

『まあ、それぢや全然强請のやうなもんぢやなくて？』

『强請ぢやねえよ、紳士稅を割當て、やるんだ。代議士ともあらう者が、妾手掛を置いて贅澤三昧を爲るからには、それ位の事は當然のこつたらうぢやねえか。』

『愈々呆れて物が云へや爲ないわ阿兄さんは、何時の間にそんな惡黨になつてお了ひなの？』

『大概お芳の仕込かも知れねえね。お前がそれ丈の計らひを爲て呉れる事が出來ぬと云ふなら、僕はお芳との內約通り實行する分の事さ。後になつて、僕の身元が分つて、若龍のお駒の實の兄と云ふ事が暴露て了つた時、お前の迷惑になるかも知れねえが、そりや兄妹の好誼と斷念めて呉れるが好いや。』

欣一は、斯う云ひながら、思ひ出したやうに袂からバットの函を出して、餘り芳しからぬ煙を輪に吹き始める。

『それぢや、全然阿兄さんの云ふ事は、捨鉢と云ふもんぢやなくて。』と詰り、お芳さんとやら云ふ女と腹を組んで、機好くば町川さんの財産から蹴ゝまで、勝手に引揚つて了はうと云ふ下心とほか察しられないが、阿兄さん、ごわらい內約と云ふのは、乾度その邊のことでせう。』

流石に若龍は、岡星を指したのである。欣一は、不承々々に首肯きを返して、

『なアに、ごわらいと云つても、それほどの大仕事ぢやねえんだが駒さん、本統にお前が僕の爲めを思つて、味方を爲て呉れる了簡があるなら、正眞正銘の話を爲ないでも好いのさ。就てはお前、それ丈の誓言が僕の前で出來るかね。』と、彼には不似合な念入の一言。

## 色を白くするには如何する

### ◆酸い果物がよい

色は白ければ七難隱すと云はれて居ります程で、色が白く血色が好いのは美人の要素であります。御婦人方は常日頃誰方も色をお綺麗になさる事に樣々の御苦心をなされます、藥を用ゐて色を白くなさらうとする方もございますが、これは健康に宜しくありません。野菜を食ること

**◇血液の** 色を鮮かにすると申しますし、殊に西洋の婦人は林檎を食ると色が白くなると申します、日本では菠薐草を食ると色が白くなり、お茶を飮むと色が黑くなると云ひます、又酸つぱいものを食べると色が白くなると申しまして、西洋の婦人は晝飯前の空腹の時に毎日レモン汁を盃で一杯づつ飮みます、之は男子の方でも少しおしやれの方はなさいます凡て

**◇酸類か** 皮膚の色を白くする事は醫學上から申しましても確かなさうで、古くからの經驗に依りましても色の白い人は酢の物や鮨のやうな酸類をお好みになり、色の黑い人は又酸類を嫌ふやうな傾向があります、酸を含んだ果物は皮膚に宜しうございまして西洋婦人は手やお顔に塗り

**◇お化粧** の時にもクリームの代りに果物の汁を用ゐる方もあります但し身體の丈夫な人は酸を飮みましても別に體の害になるやうなことはございませんが、胃の弱い人や血液の多い人なごは念の爲め一應醫師の診斷を受けてその上にした方が宜しう御座います

## 日報歌壇

初秋の歌　櫻井町　楠田なみ

はつ秋の雨をやみなく降りそゝぐ御濠に君思ふ
葉を見てなみだぐみつゝ
はつあきよかぼそき虫の聲にさへ君思
ふゆみなみだこぼれぬ
サラ〳〵とポプラはゆらぐはつあきの
夜ぞ狂ほしく君をおもほゆ

○　隆城

百日紅散紅にもゆる初秋は若き心に悲しかりけり
パチ〳〵と豆をむく母の手に悲しき秋は訪づれてけり

山居して　大邱　百合

今日よりぞ秋は立つらしあしびきの山松かげに蜩なきぬ
吹く風の冷たき迄に入りそめてなつかしみ下りがてぬかも
あかつきの鳥はうたへどこの山のポプラのかげはまだ靜けし
久方の雨をとゞみてはちす葉にたまれる水の輝きをみよ

## 新刊紹介（到着順）

▲二人傘（小杉天外著）　通俗小說としての本書は其の局面局面に依て非常に變化に富むで居るし伏線の動き方も著者一流の容易に他人の企及し能はない獨創的な所がある火藥發明家久方弥郎を中心として發明に援助を與へてゐる富豪時澤城五郎、此發明を盜んで外人の手に賣却し奇利を占めんとする惡人連と彼の周圍を取捲いた中に菊郎さは相思の佳人鍋山松尾が讀者の期待を裏切らんとする所作々として惡き場面の轉變は小說好愛者の趣味を喚るに充分である（一圓五十錢東京市牛込神樂坂南北社）

▲不平（創刊號）　不平不公平を天下に鳴らす漫畫雜誌、秋好善太郎の發刊の辭、長瀨鳳輔の偶感三則、山口孤劍の官僚階級史論、關東太郎の茶目君の罵倒錄、あらゆる方面より寄稿せる不平世界帝其他名の如き記事を滿載せり（廿五錢東京市外柏木町一二八公平會）

## 讀者の領分

▲余は去る十三日龍山線電車にて［illegible］錢五厘の貨金を［illegible］きれた然るに其際に於ては從前通三錢の貨金を徵收し居るを見たり如斯貨金の區々に別れるは何故なるかこは何れかの車掌の間違ならんも要するに京電の不注意に基因す敢て京電の局明を望む（一乘客）▲南山町の女へ、お尋ねの事は本社の受付で判ります（係）▲『常局に激勵す』と題する綴り物を寄せられたる人よ、讀者欄は本紙の記事の趣旨により下宿上遺な習つて贊きました（係）▲私は某役所の［illegible］な物價暴騰の際なれば餘暇を利用し家庭教師に雇はれパンの一助としたし御入用の方は御申越下度參上す（本町四ノ十三林生）▲京城市中にて新聞配達に御雇ひ下さる篤志家はありませんか但通學に都合よき方にてす（汽車にて思南エム、ソイ生）▲南山館の町に居住する某氏より我は蔬菜栽培の爲に日毎付近の不潔物を汲取は多謝する處なるも其培養の爲に［illegible］光こ雨露とに曝す［illegible］ここ數日間加之ならず［illegible］て何等掩蓋の備へさへなさざるは何ぞ其附近に居住する小生の苦痛一方ならず臭氣は日夜鼻を衝き且つ大小の蠅類發生甚だ絕間なし君の位置と境遇に鑑み下さる方はありませぬか鮮人で薬發あたいと思ひますが此間だけ面倒を見て下さる方はありませぬか鮮人で［illegible］り國語に堪能なる人ならば申分ありませぬが普通學校の學生さんも結構です（好鮮生）

▲廣告▼

◎双眼鏡◎
◎十五形六枚玉十二圓
◎十三形六枚玉十一圓
送料鮮内十二錢外三十錢
右御申込の節は至急御下命願上候
京城太平通電話龍山一八番
京城日報社代理部

## ○山東近信

▲三督軍の中立的態度　江蘇、江西、湖北の三督軍は此程連名にて中央の［illegible］れば至當なる解決を見る能はず若し中央にして吾人の建言を顧みず依然として武力的時代を手張せば吾人は［illegible］を行ふの意見を陳述したりと云ふ［illegible］之れを以て觀れば一種の中立的態度にして主戰派に對し一大障害た［illegible］んと欲するに在るものの如しと觀測するものあり

▲軍隊募集取締令　山東張督軍は［illegible］し通令を發し爾後何處に論なく其の縣境に至りて兵士を募集する者あるも事前に本署の電令に接し居ら［illegible］の者は悉く其委員の募集に對しては該縣知事は左記要旨に依り取締を加ふべしと命ぜり曰く［illegible］四、各募集の狀況は隨時詳細に報告して參考に供すべし［illegible］く縣境に留まらしむ可からず

○釜山救濟會の寄金

□光榮ある御化粧料三十六種の內□

＝美しくなる液＝

# 美顔ユーマー

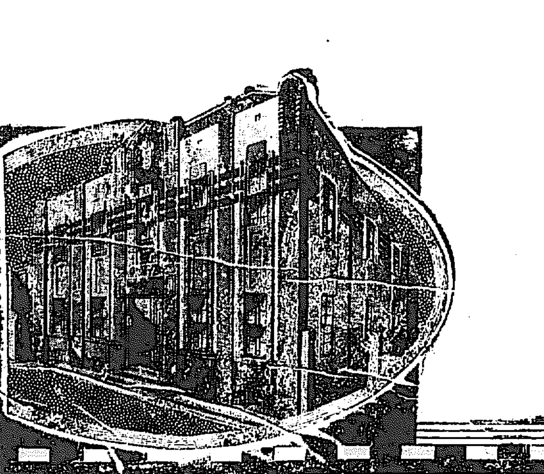
▲ばら色の鮮かに美しい顔色……こ
美顔ユーマー

■第一回の使用　ユーマーを唯の一度お用ひになるだけでも其の一日の顔色の美しさ、氣持の好さは何ごも申されません。

■二回、三回、四回　度重なるにつれユーマーは彌々獨特の作用を現します。皮膚が軟かに肌理が整ひ、いつ見ても見るから氣持の好い、鮮かな、美しい顔色は、實に美しさの頂上で御座います。

■化粧下と日焼止　この外にも、ユーマーが化粧下として此上なく好い事、及び日焼を防ぐこと。アレを止める効用の優れてゐる事は、一度お用ひになつた方々の御承知の事で御座います。ユーマーはこれで一層重寶なものとなつて居ります

■無垢な子供の皮膚の樣な　あの汚れのない、シミや荒れなどを知らない、愛らしい、眞から綺麗な、あの樣な色艶を保つて容貌の美しさを發揮するには、優秀なる美容液として學理上にも實地上にも、疑ふ事の出來ない作用を持つてゐるユーマーほご適當なものはありません



▲美顔ユーマーを創製したる
桃谷研究試驗所
所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
同　醫學士　米倉昌達
同　千葉藥學士　小破静次郎
同　藥學士　齋藤銑助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
同　醫學博士　山本淳一氏

發賣元　桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目
東京市京橋區有樂町（實驗部）
大阪市西區靱南通二丁目

宮內省御買上品

原料香水

ばら、スミレ、百合の花から採つた香水の素

# オリヂナル

僅か一滴で佳い匂ひが永く保つ……他に類が有りません

（近來賣行旺盛に從ひ僞物現る御注意）

本舖　東京　安藤井筒堂
代理店　大阪　藤森源之助